



嫌な予感はしてたよ
明らかに様子が
変だったもんな。。。

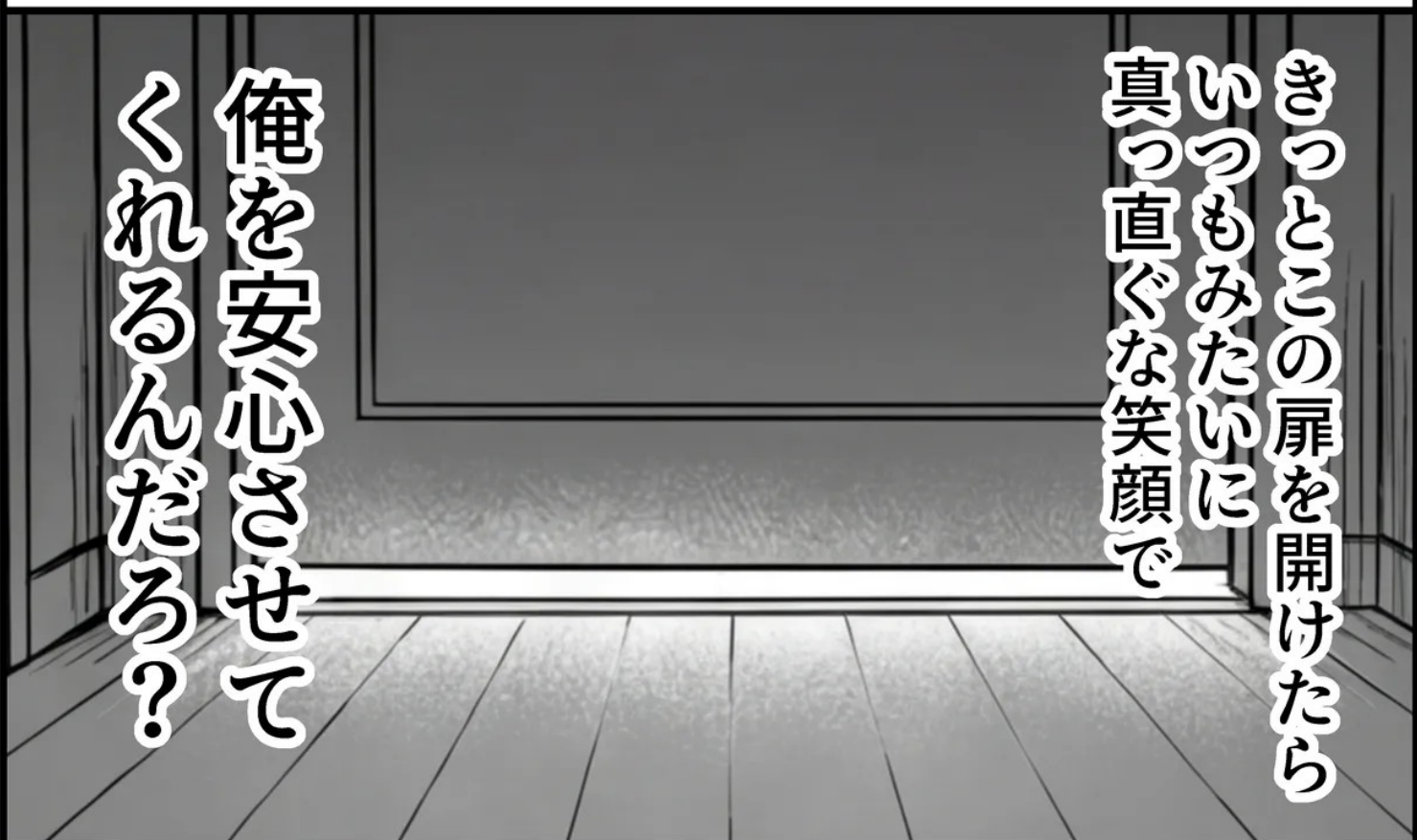
だけど好きだから
信じてたんだぜ？
お前を失いたくなつた



この階段の先に
答えがある

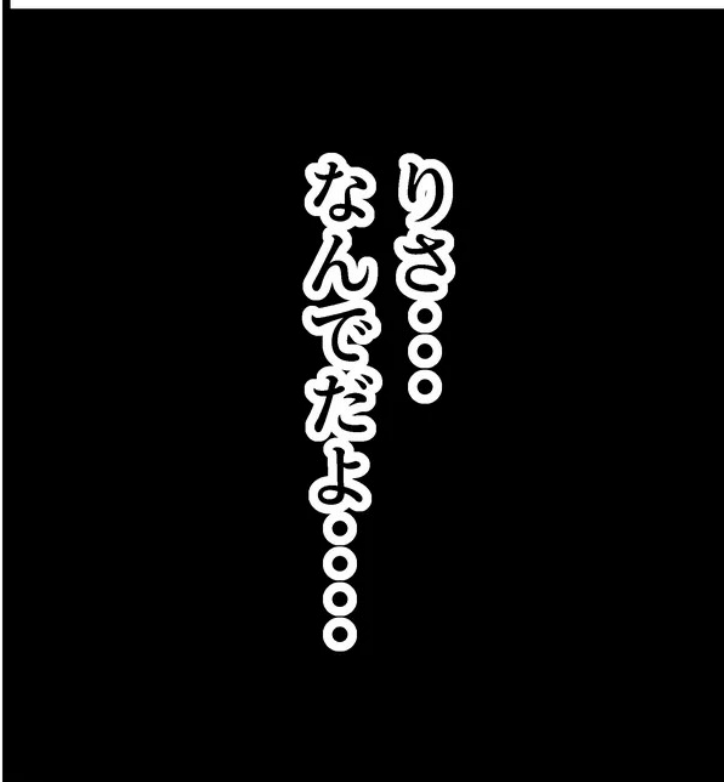
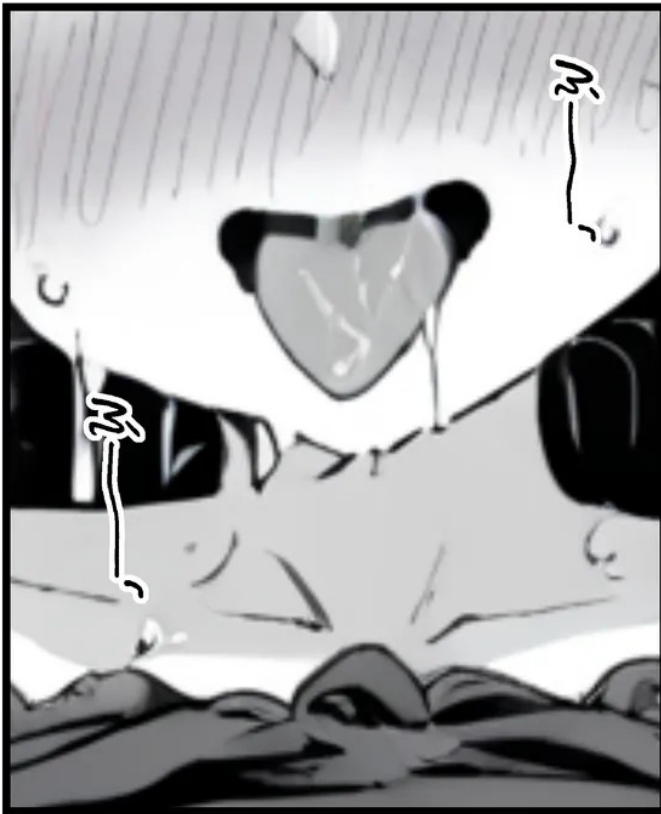


まだ期待してて
いいよな？



きつとこの扉を開けたら
いつもみたいにい
真っ直ぐな笑顔で

俺を安心させて
くれるんだろ？





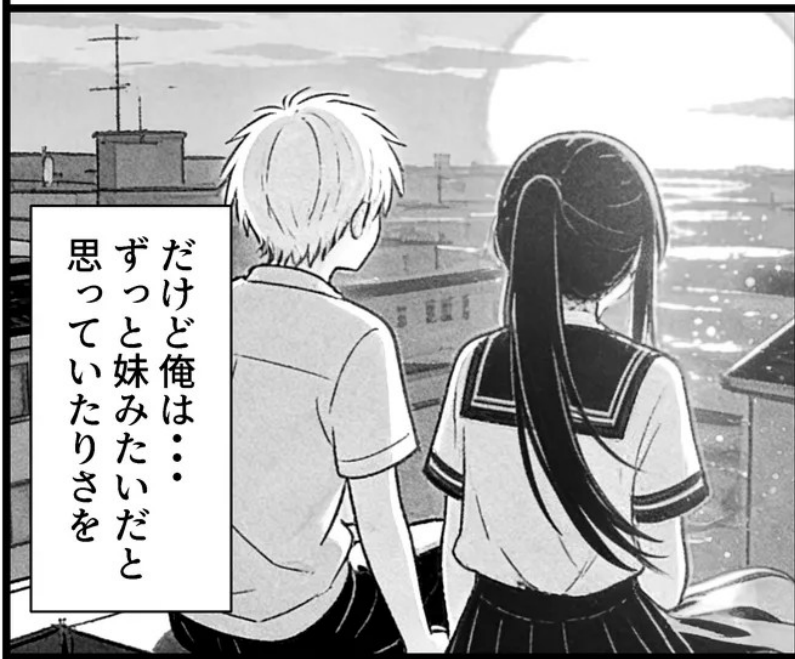
小中高と
ずっと一緒



遠藤ヒカル(4)

結城りさ(4)

俺とりさは
幼稚園の頃からの
幼馴染み



だけど俺は……
ずっと妹みたいだと
思っていたりさを



いつしか
好きになっていた



母親同士が仲いいこともあり
俺たちはまるで兄妹のように
常に一緒に遊んでいた



りさを好きだという
気持ちを伝えられないまま

俺たちは
高校を卒業した

卒業証書

卒業証書



春からはお互いに
別の大学に通う

ずっと一緒も
もう終わり



ついに卒業
しちゃったね

本当、あつという間
だったよな...



春からは私もヒカルも
大学生か...早いなあ...



...早く
彼氏作れよ?

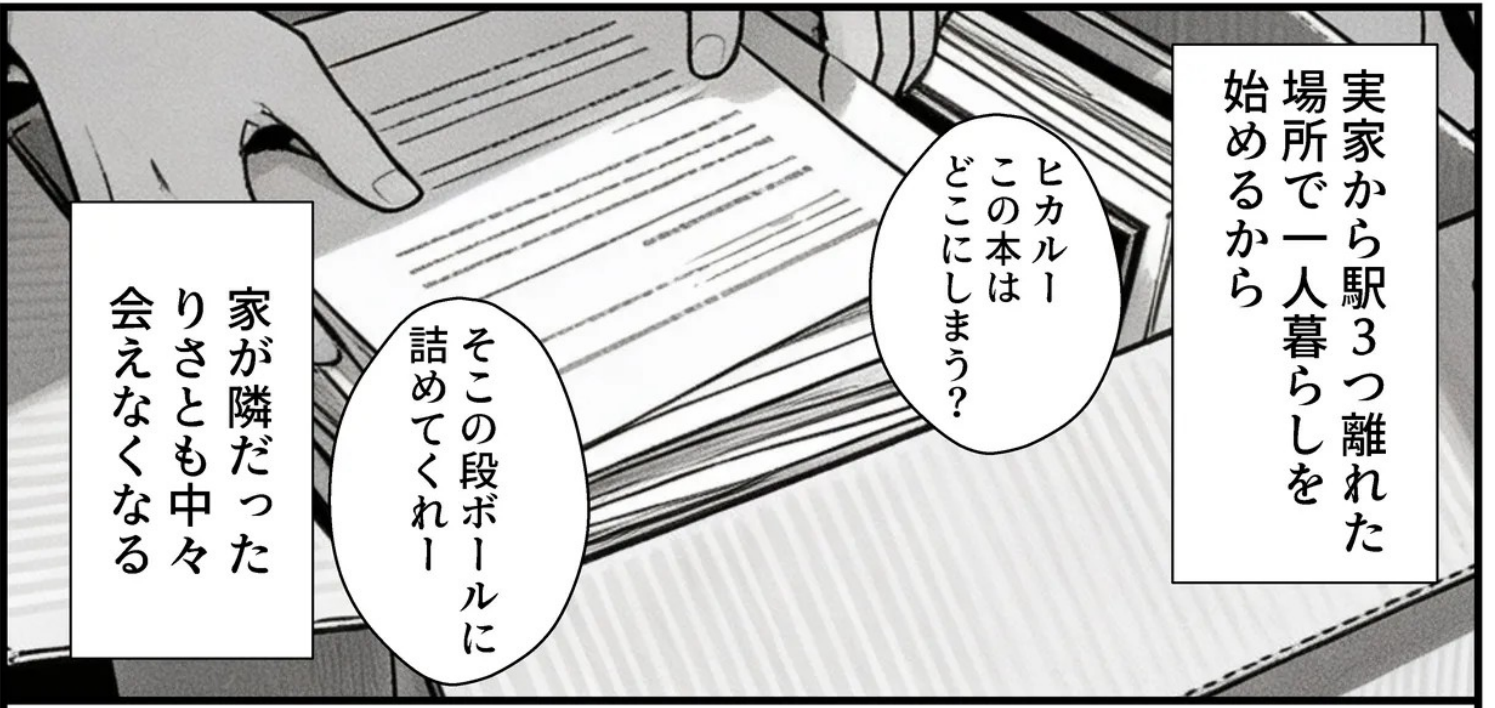
もうっ
うるさい笑

実家から駅3つ離れた
場所で一人暮らしを
始めるから

ヒカルー
この本は
どこにしまう？

その段ボールに
詰めてくれー

家が隣だった
りさとも中々
会えなくなる



ヒカルって
バカなのに
意外と読書家
だよな？

けっ
ほっ
とけ



私が恋しくて
すぐに帰って
くるなよ？

お前もすぐ
俺の家に来ちゃうん
じゃねえの？

正直言っ
めちやくちや
寂しい……



ずっと一緒だった
りさとただの兄妹で
終わりたくない

おいっ
そこの少年

何をポーっと
しておる笑

俺はりさの彼氏として
ずっとそばにいたいんだ！





え!?

りさ!
大好きだ!



ヒカル……



ずっと大切にする
だから俺の彼女として
そばにいて欲しい!



凄く嬉しい!!
私も大好き!!



ほ、ホントか!?
ははっ!
マジかよ!!

もう!
ずっと待って
たんだよ!



両想い
だったんだね

と、いうことは
ずっと……?

この時は
幸せの絶頂
だった

実際めちゃくちゃ
舞い上がっていたと
思う



お互い別々の大学に通いながらで忙しかったけど、順調だった

穏やか
だなあ

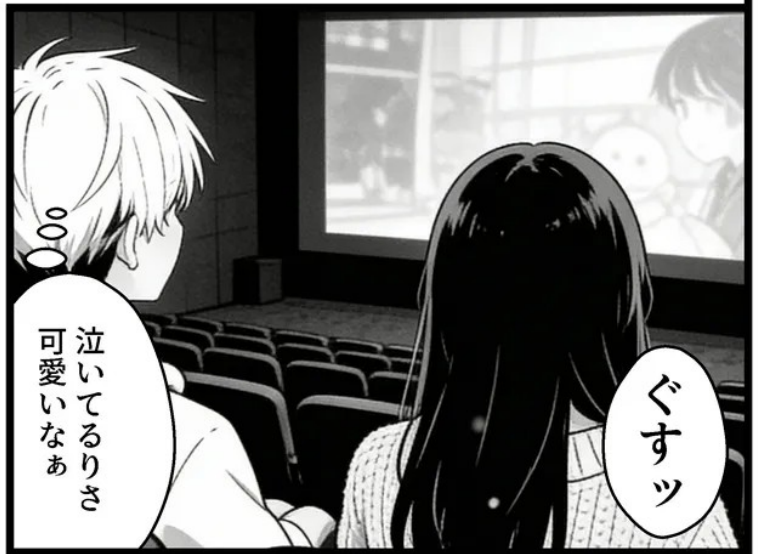
ふふっ
お昼寝したくなっ
ちやうね

りさと色んな
場所に行ったっけ



これって
何て花？

これは
確か…



ぐすッ

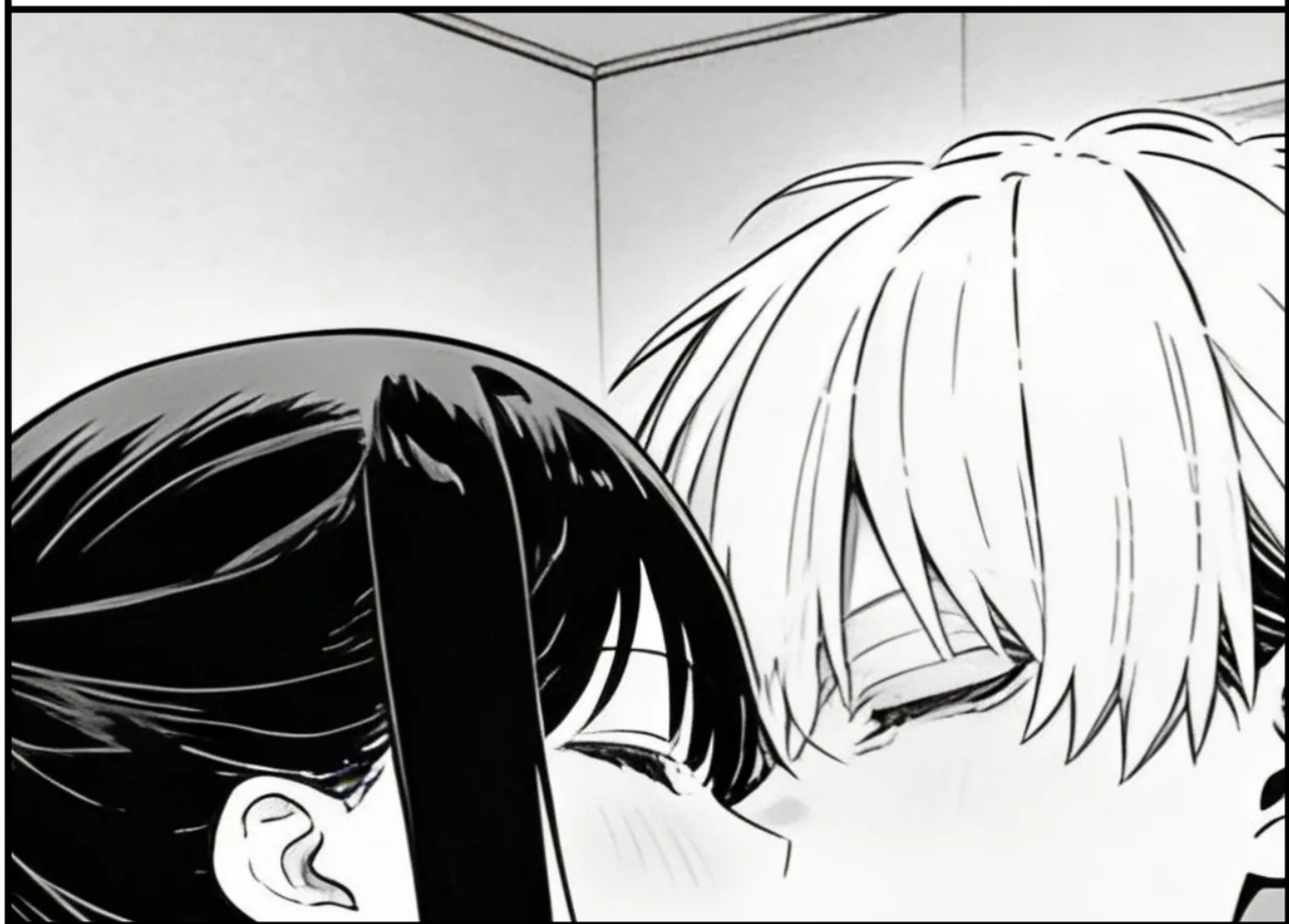
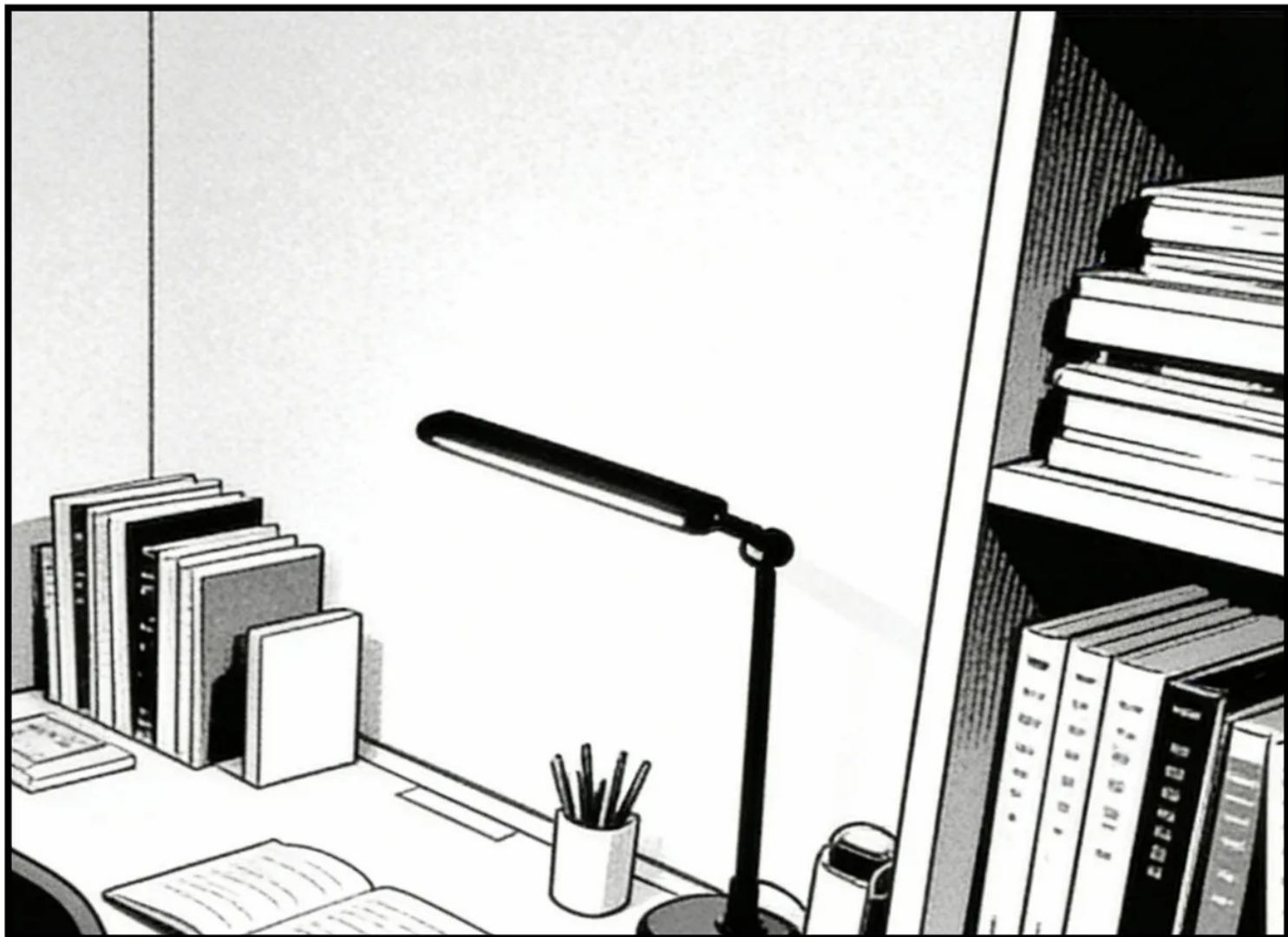
泣いてるりさ
可愛いなあ



楽しすぎて
あっという間の
一年だったよ

凄く上手に
出来た♡

…上手すぎ
だろ笑



そして
俺たちは結ばれた



学校生活も
恋愛も
すべてが順調だった

だけど、大学2年生に
なったタイミングで
同時にりさの様子が
少しずつ変になっていた

既読
19:00

おつかれ。今日、学校どう
だった？



りさ

あ、うん。普通だったよ。

19:56

既読
19:59

最近ずっと返信遅いけど、
大丈夫？
なんかあった
？



りさ

ごめん、ちょっと色々あつ
て。

20:20

既読
21:25

色々って？前までみたいに
話してくれなくなったから
、心配してる。



りさ

うーん…大したことじゃな
いよ。

21:40

いよ。

21:40

俺には言えないこと？
なんか、避けられてる感じ
する。

既読
21:43



りさ

そんなことはないよ。

21:44

じゃあ最近何してるの？
夜に連絡つかない日多い
けど。

既読
21:45



りさ

ちょっと外出してただけ。

21:46

既読
21:47

誰と？



りさ

友達だよ。

21:48

前は全部普通に話してくれてたのに、最近は隠すようになったよね。
疲れてるだけならいいけど…

既読
21:51

もしかして、俺に言いづらいこと？



りさ

……ごめん。
ちょっと
考える時間ほしいかも。

21:59

考えるって何を？
俺たち
ちのこと？

既読
22:00



りさ

うん…。

22:01

最近の態度でなんとなく気づいてたけど…
誰かい
るの？

既読
22:02

づいてたけど…
誰かい
るの？

既読
22:02



りさ

違うよ。
ただ…ちよっ
と距離置きたくて。

22:05

距離置きたい理由は？

既読
22:07

はっきり言ってほしい。



りさ

……今はまだ言えない。

22:10

言えない理由があるってこ
とは、
俺じゃない誰か
関係してるの？

既読
22:12





りさ……
今どこで誰と
何をしてるんだよ……



よーし
啜えていいぞ

はー♡

はー♡



×××さん
もういいい？

はー♡

はー♡



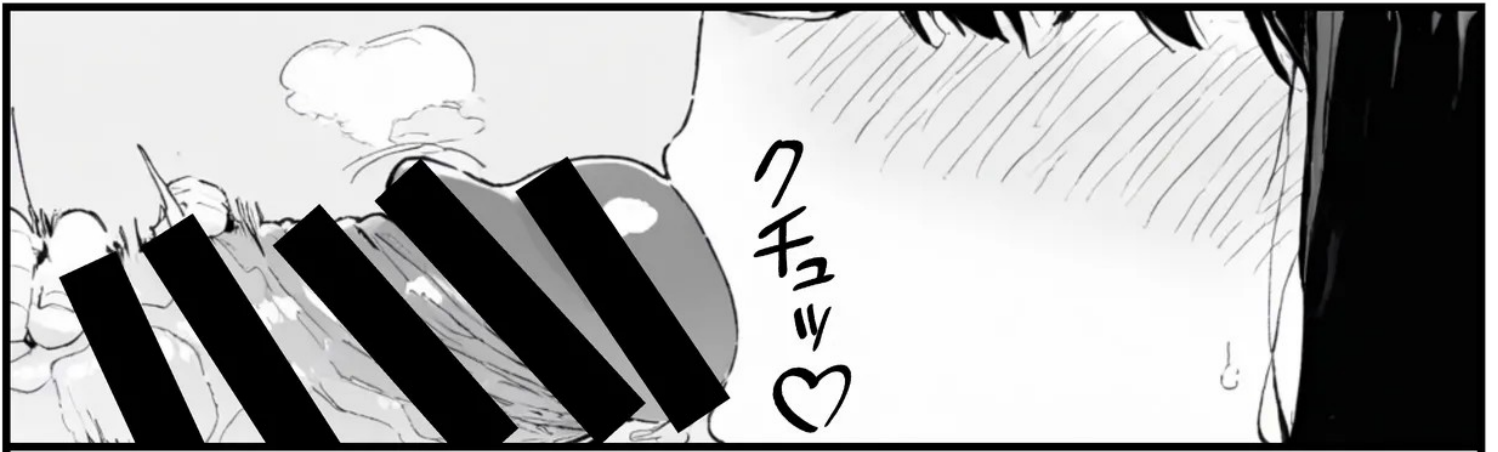
ああ……♡
凄い男の臭い♡

まずは亀頭を
舌で刺激して

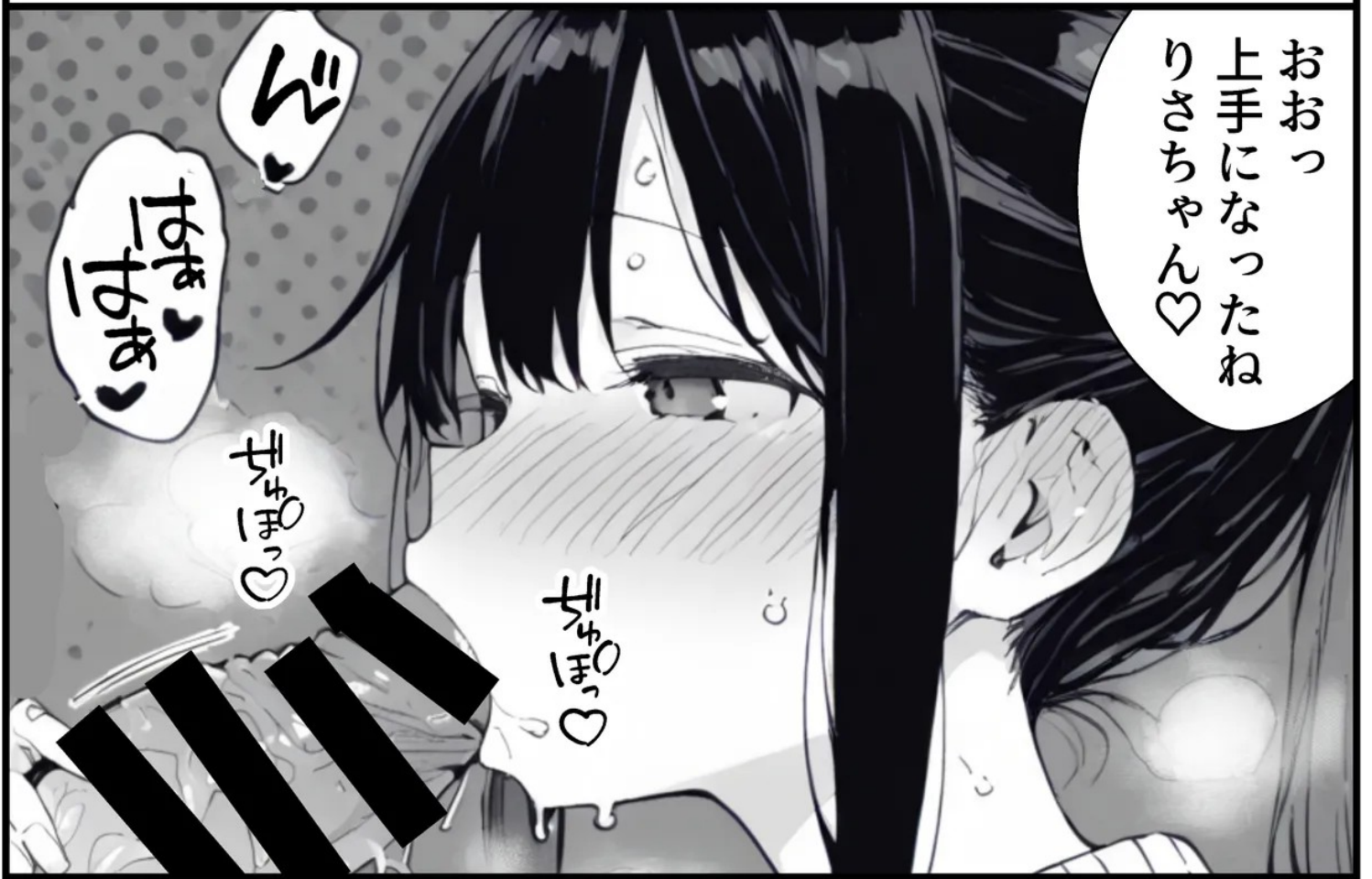


はい♡
×××さん

し、
お汁が
溢れてるよ？



♡
クハハハ



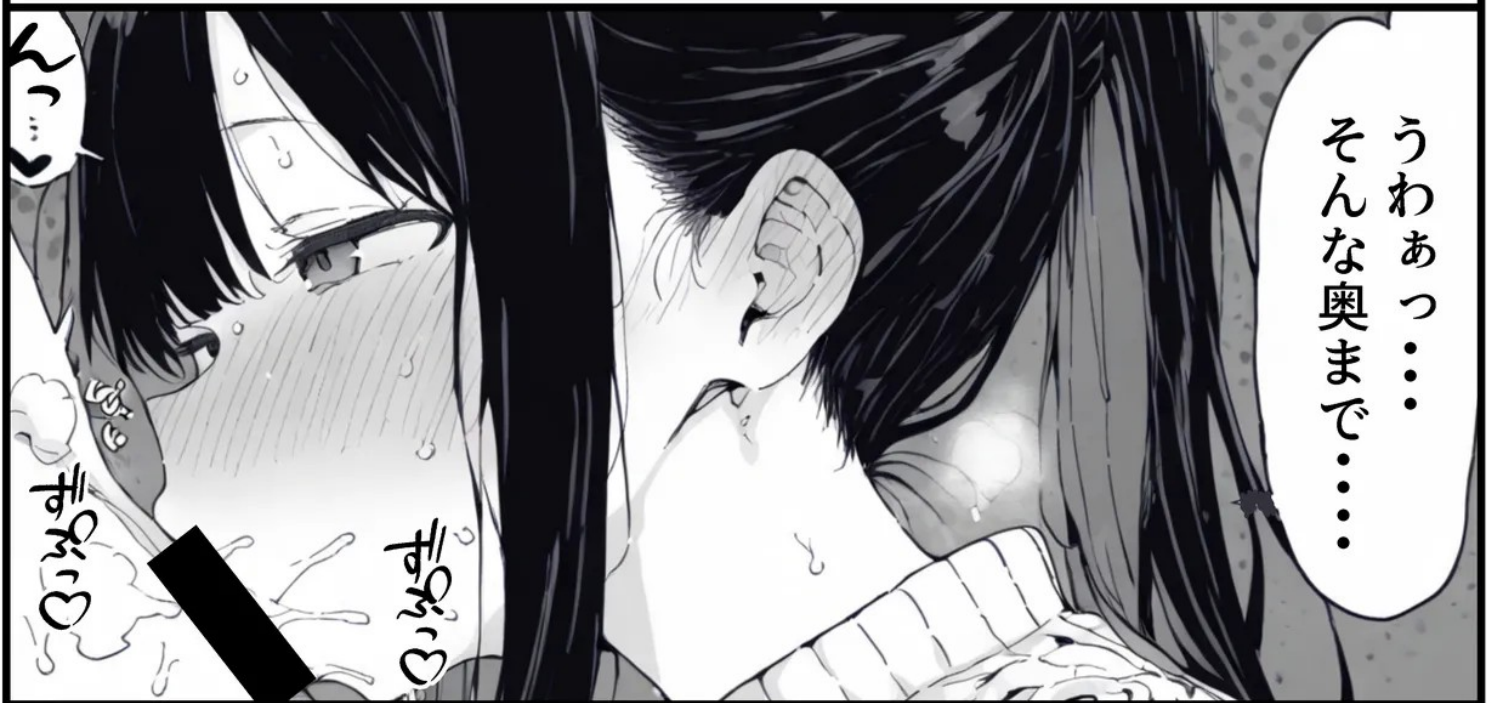
おおっ
上手になったね
りさちゃん♡

ミ

ハハハ
ハハハ

ハハハ♡

ハハハ♡



うわあっ…
そんな奥まで…

ハハハ

ハハハ♡

ハハハ♡



先っちょ
気持ちいい？

めっっちゃ
気持ちいい

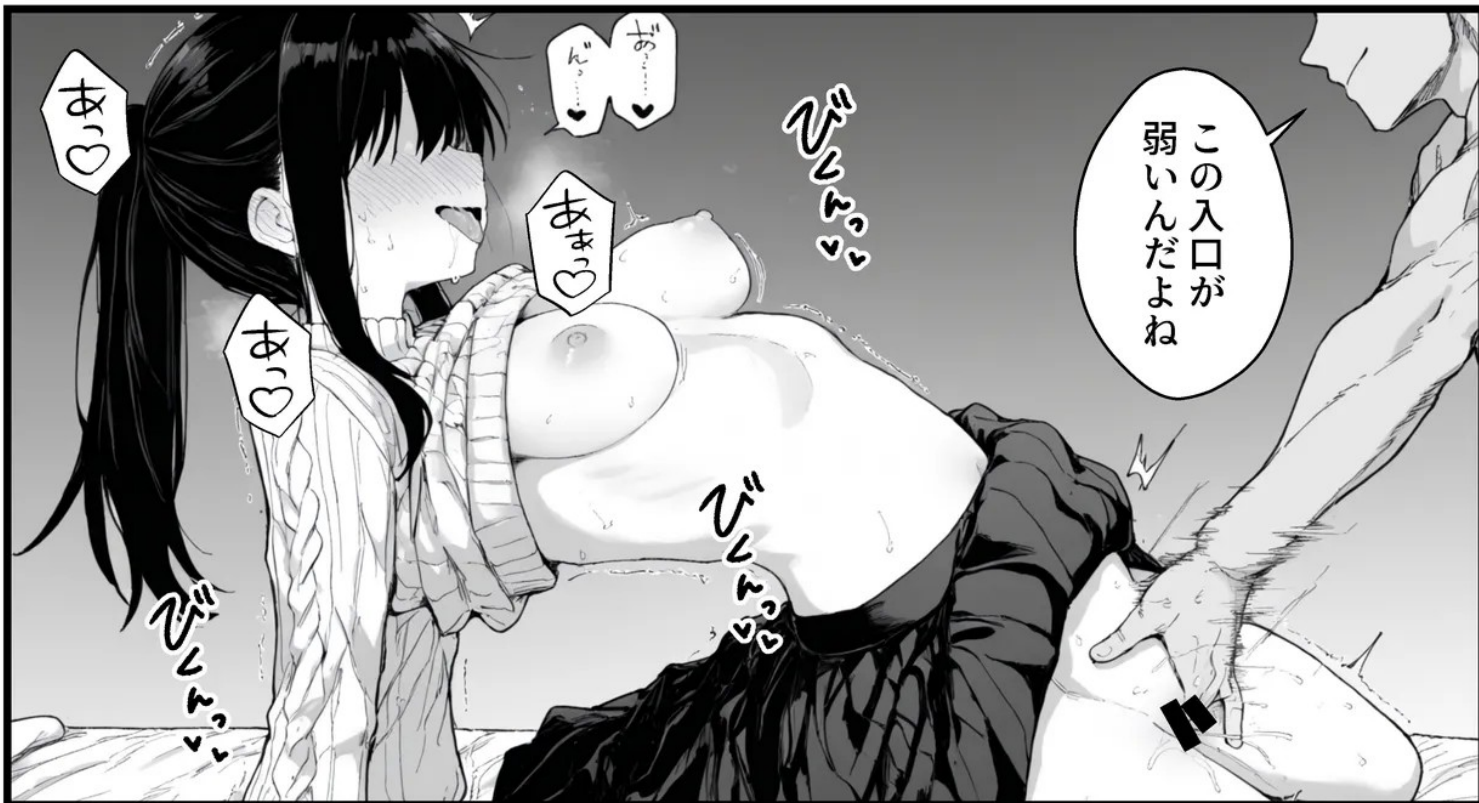


激しく
するねっ

うおっ
それヤバいッ



精子の
臭い♡
出せっ♡



この入口が
弱いんだよね



そこ♡
すぐイキそうッ



クリめっちゃ
勃起してんじゃん笑





ああ・・・♡
気持ちいい♡
ヒカル・・・ごめんね

ドクドク

しゅん

ふっ♡

ふっ♡

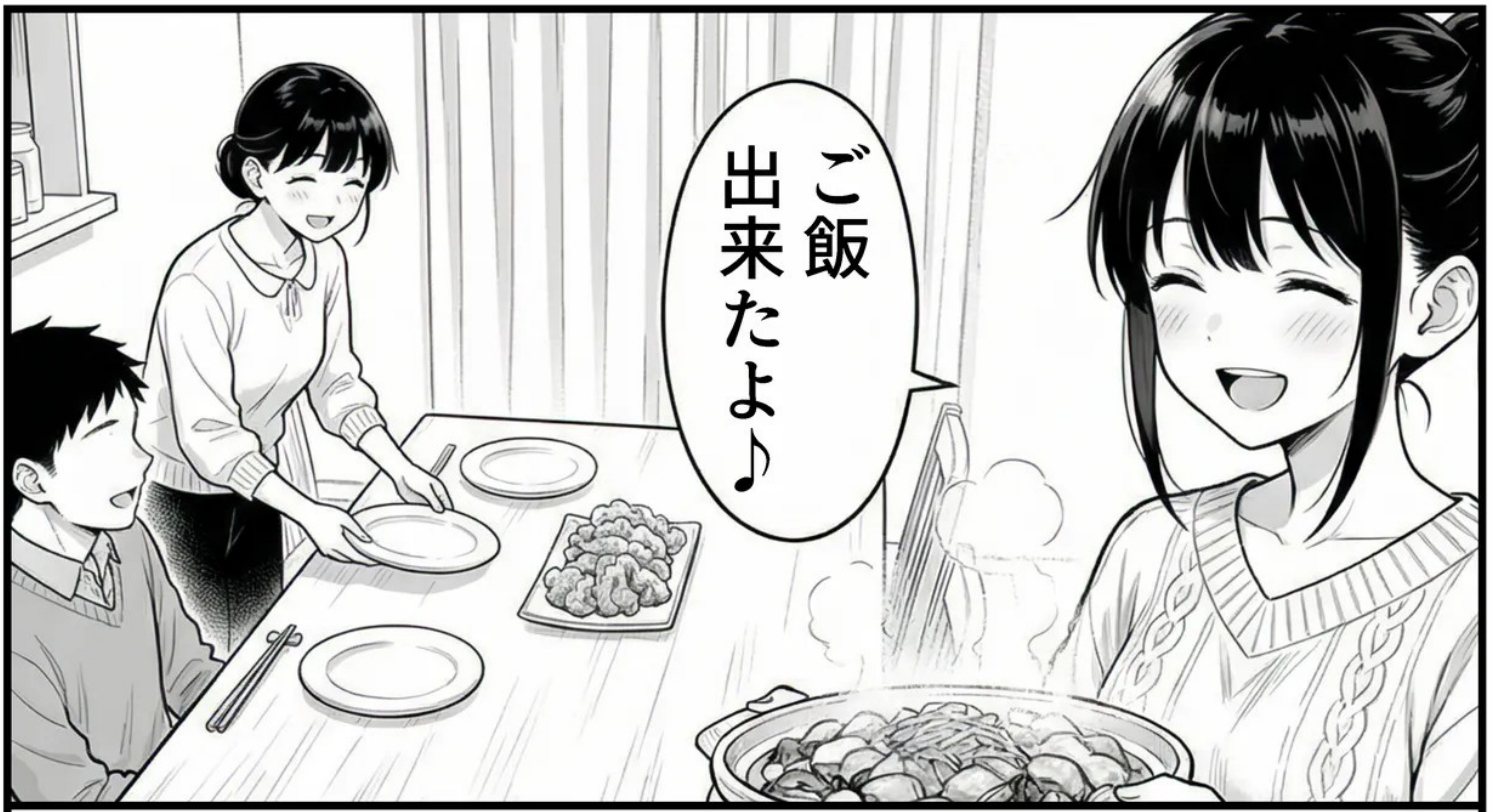
ふっ♡

私がかこうなって
しまったのは……

お母さんの
再婚がきっかけ
でした



ずっと女手一つで
私を育てくれたお母さん
そんなお母さんが再婚する
ことになったの
反対なんかしなかった
大好きなお母さんが選んだ人だもん
私もきつとお義父さんを
好きになれると思ってた



ご飯
出来たよ♪



お義父さんも凄く
優しい人ですぐに
打ち解けることが出来た



ごちそうさま
さまでした。

美味しかった
ねー♪

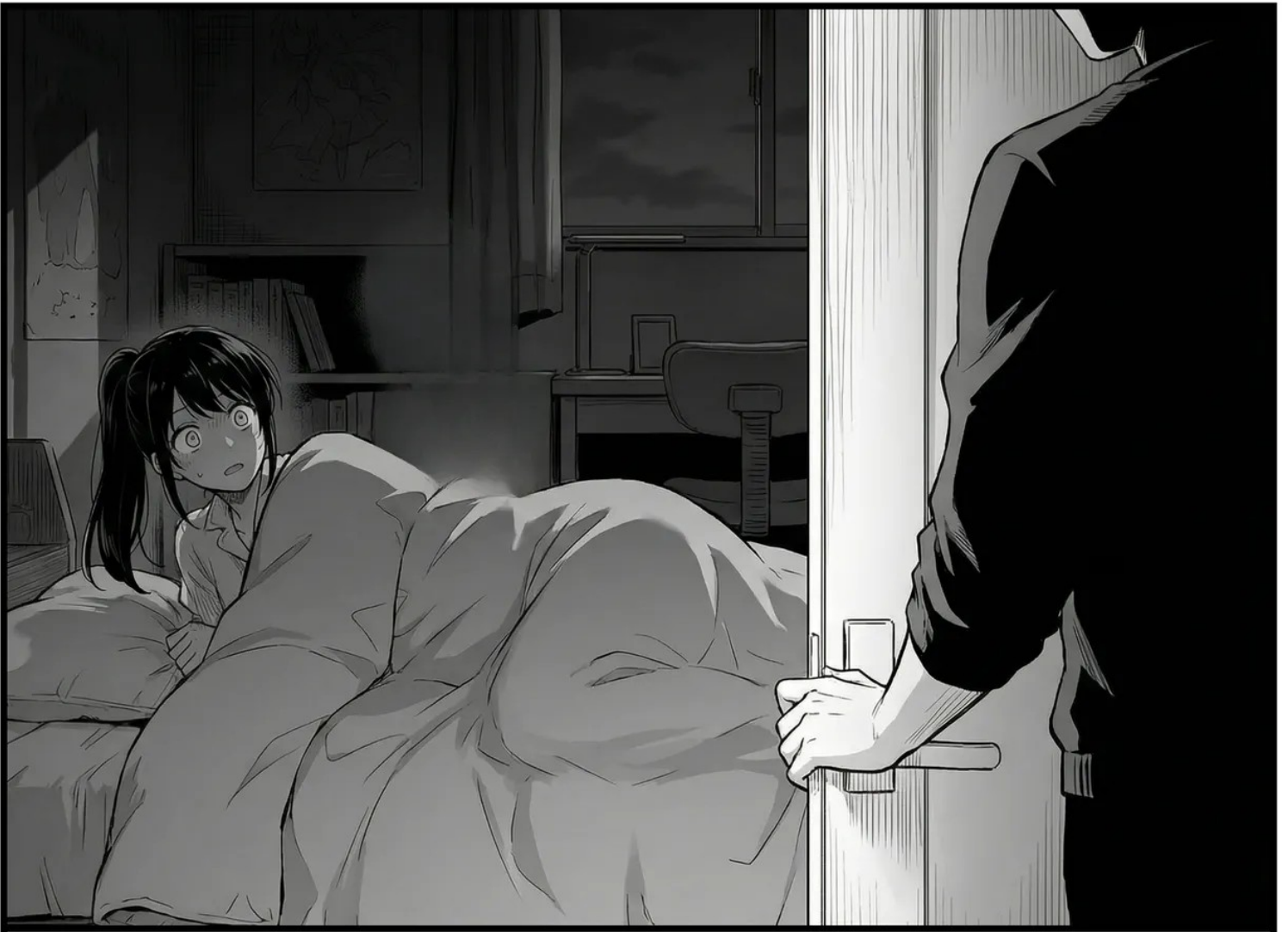
お義父さんと
住み始めてから
半年が立った頃

その時期は
ヒカルに会えないときが
続いていて、
夜な夜な自分で自分を
慰めていたことが多かったの

……りぬ
ちゃん？

え？
お義父さん？

キキキ



その日家族が壊れた



お、お願い
やめて…

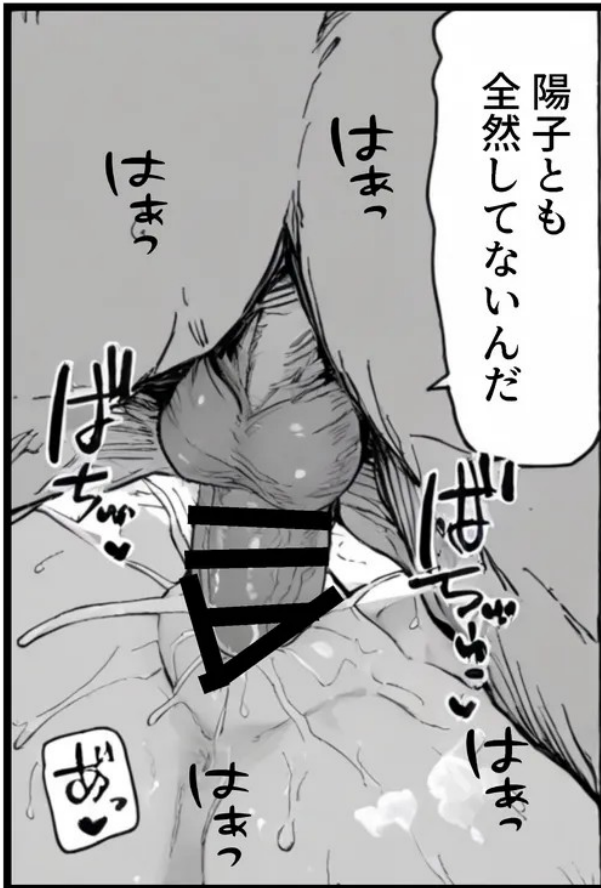
お
お
お



り、りさちゃん
もう無理だッ

お義父さん！
お願いッ！

お
お
お
お
お
お
お
お
お
お





陽子はぐっすり
寝てるよ

やだやだ

お願い
抜いて！



びしょ

びしょ

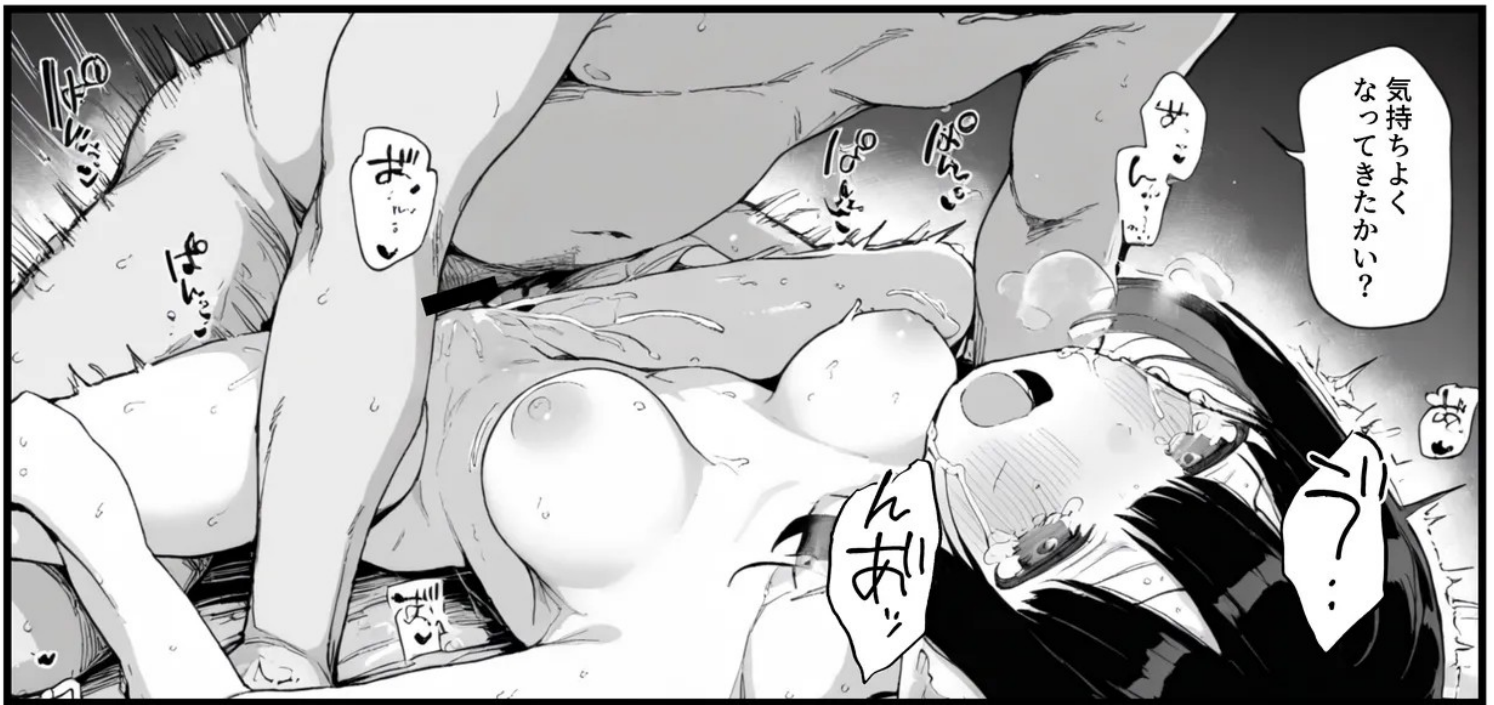


りさちゃん
めちやくちや
濡れてるじゃん！

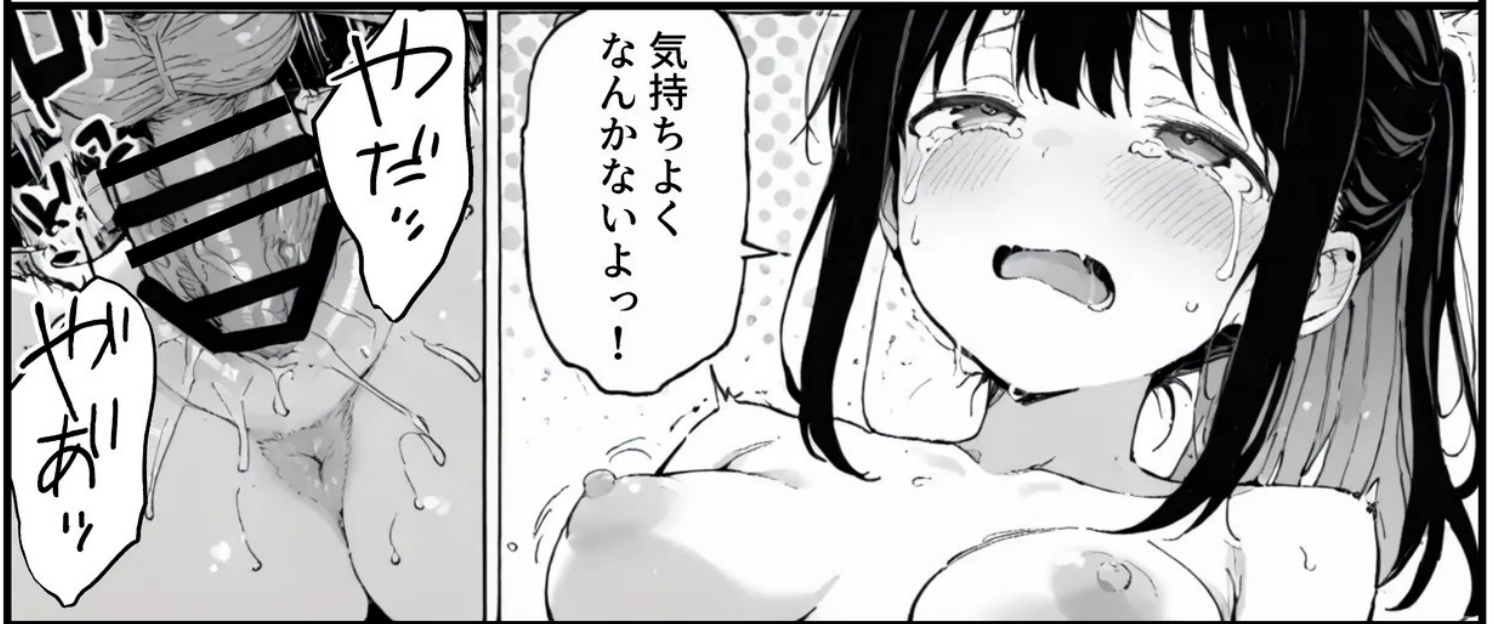
んお

ん

びしょ



気持ちよく
なってきたかい?



気持ちよく
なんかないよっ!

かたッ

かッ

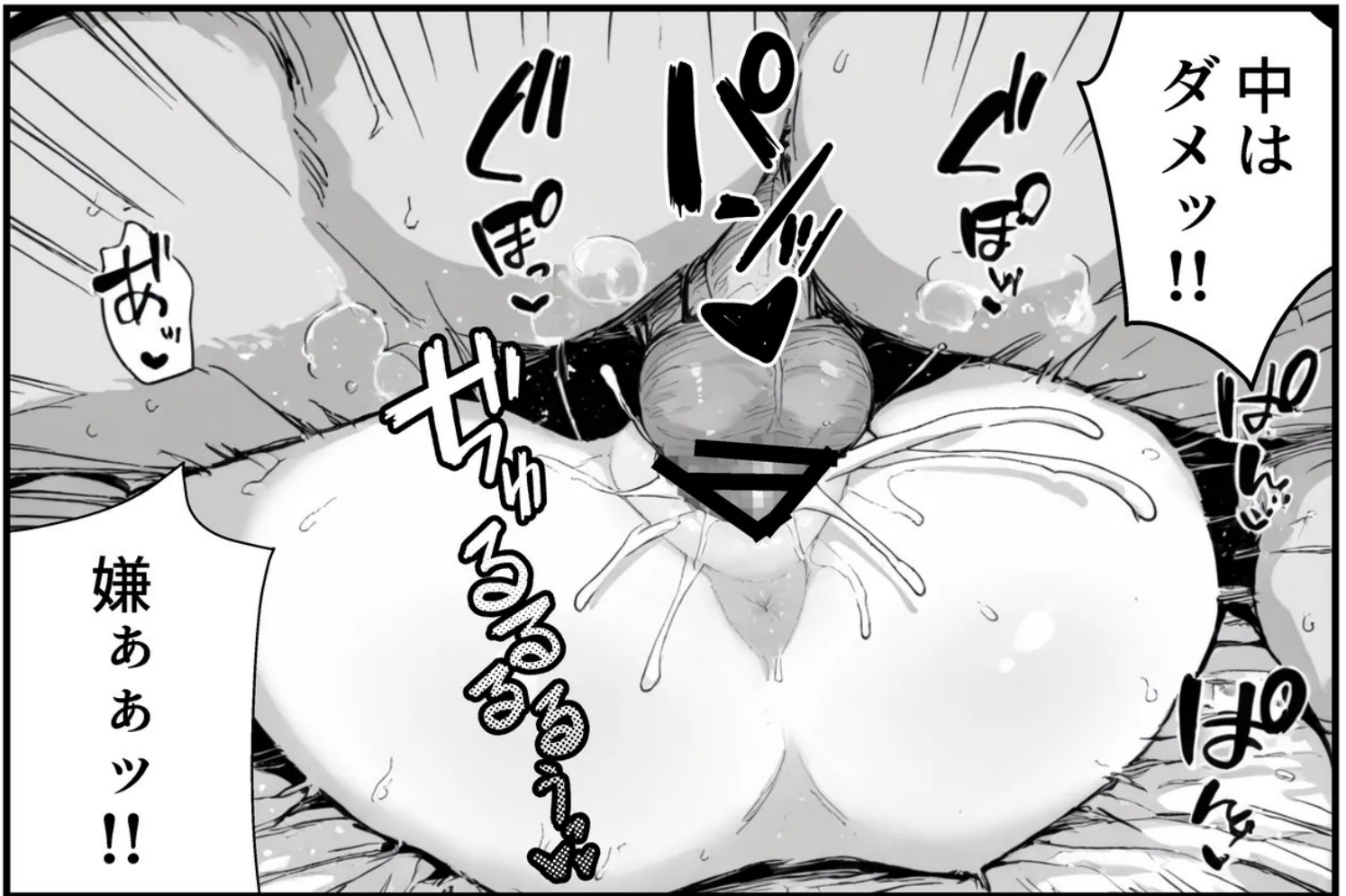


うっ!
すげえ締まるッ

お義父さん...
もうやめてッ!

ズッ



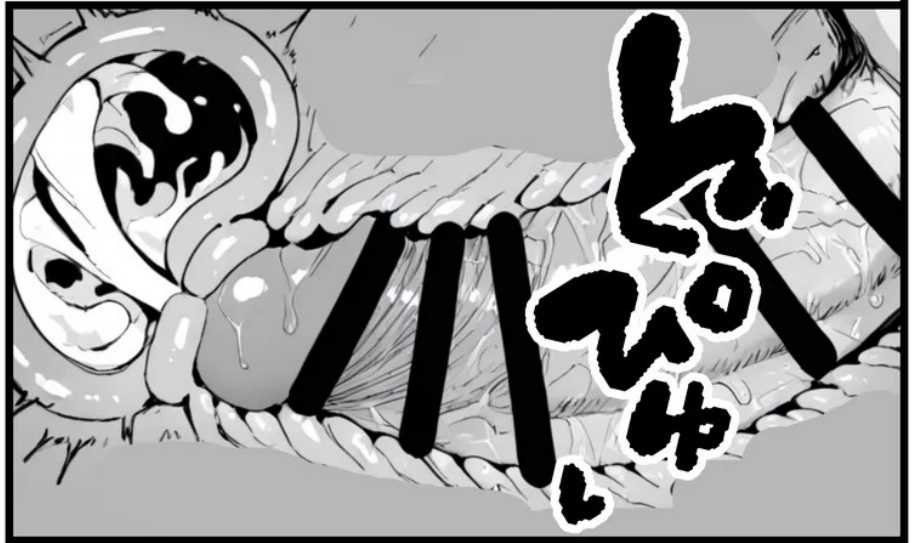


中は
ダメツ!!

嫌
ああツ!!



嘘
でしょ...



ど
ろ
ろ
ろ



赤
ちゃん
出来
ちゃう...

ヒカル...

ご
めん
ね
...

その日を境に
義父は私を何度も
抱くようになった

お母さんやヒカルに
バレたら困る私は
抵抗できずに抱かれ続けた



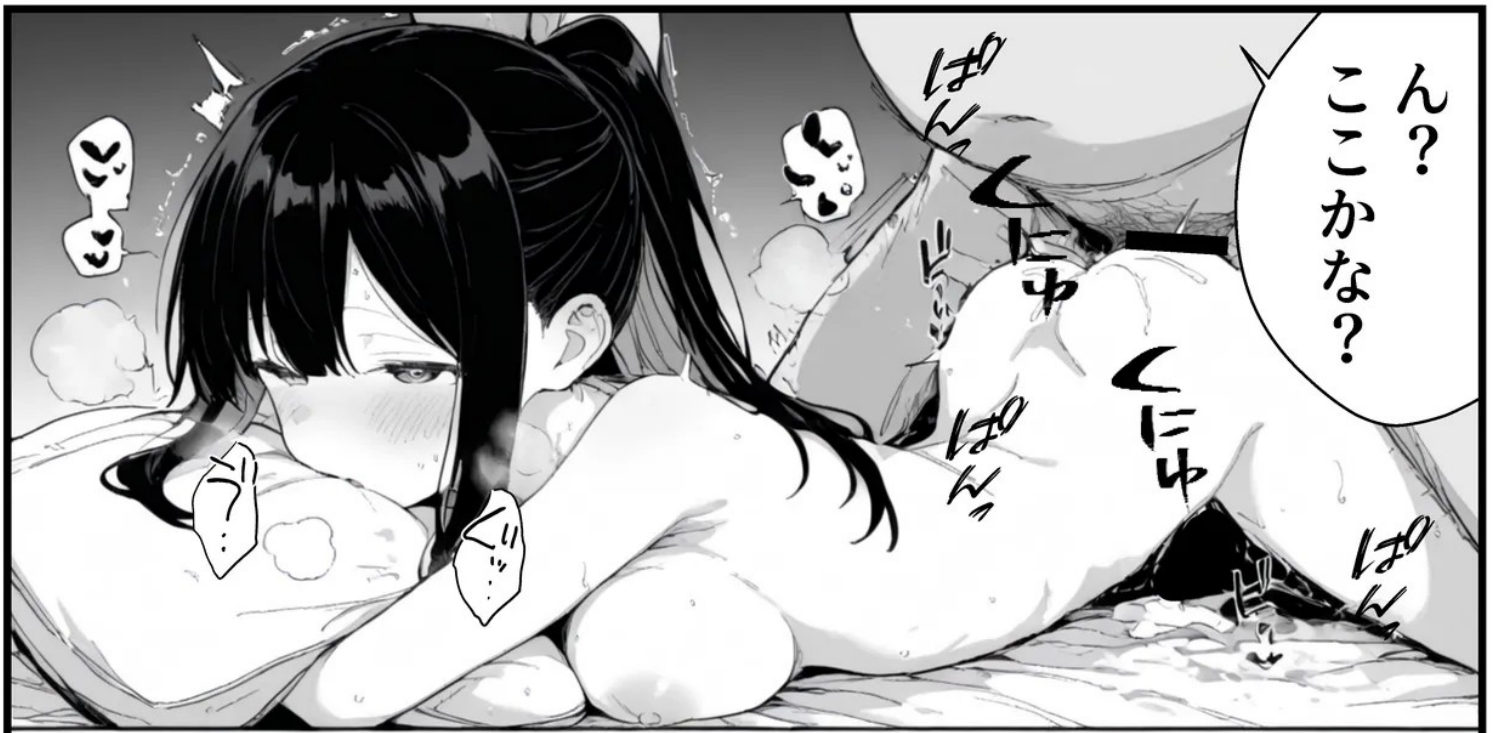
りさちゃん
大分慣れてきたね
最初はあんなに
キツキツだったのに



もう
こんなに
馴染んでる



あぁっ
そいつ
ダメッ……
ヤダ……気持ちい……



ん?
ここかな?



おおっ
締まるっ♡



どうしよお...
き、気持ちいい...♡

そんなに
喘ぎ声あげたら

お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

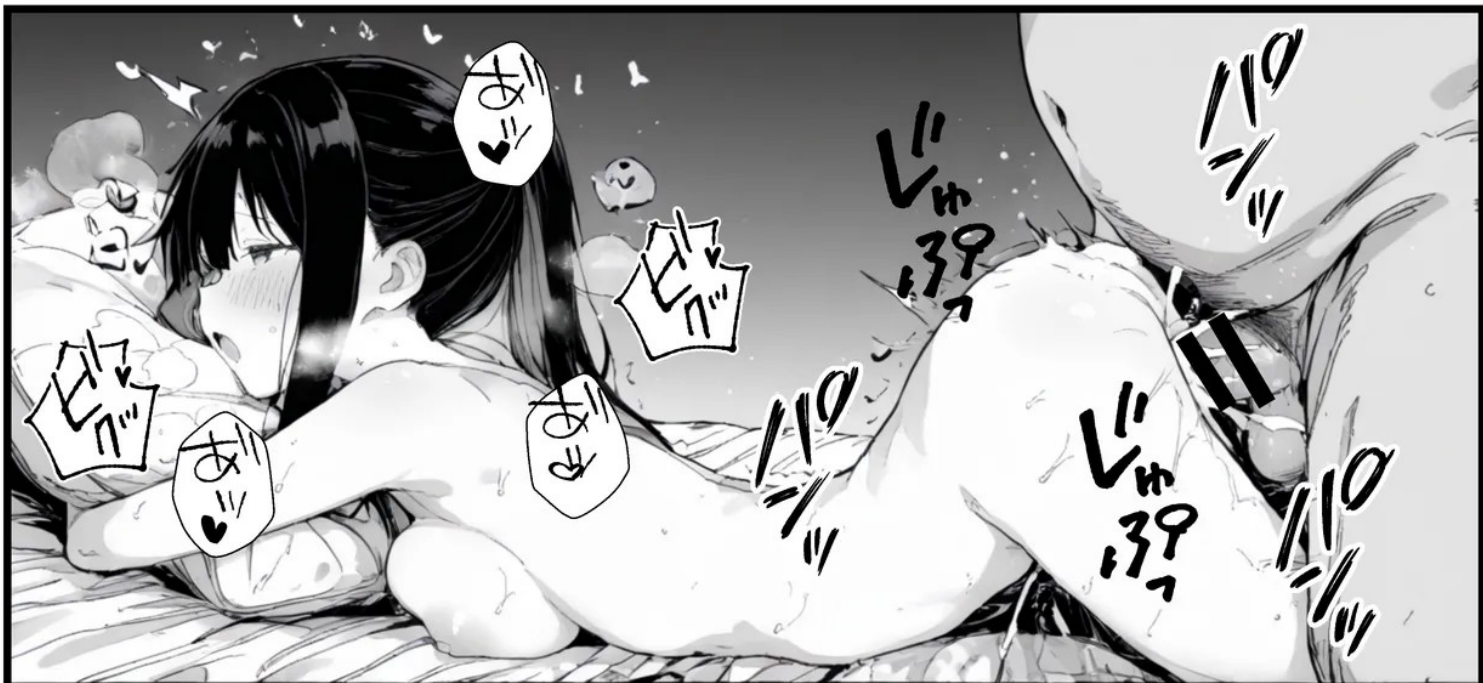
お母さん♡

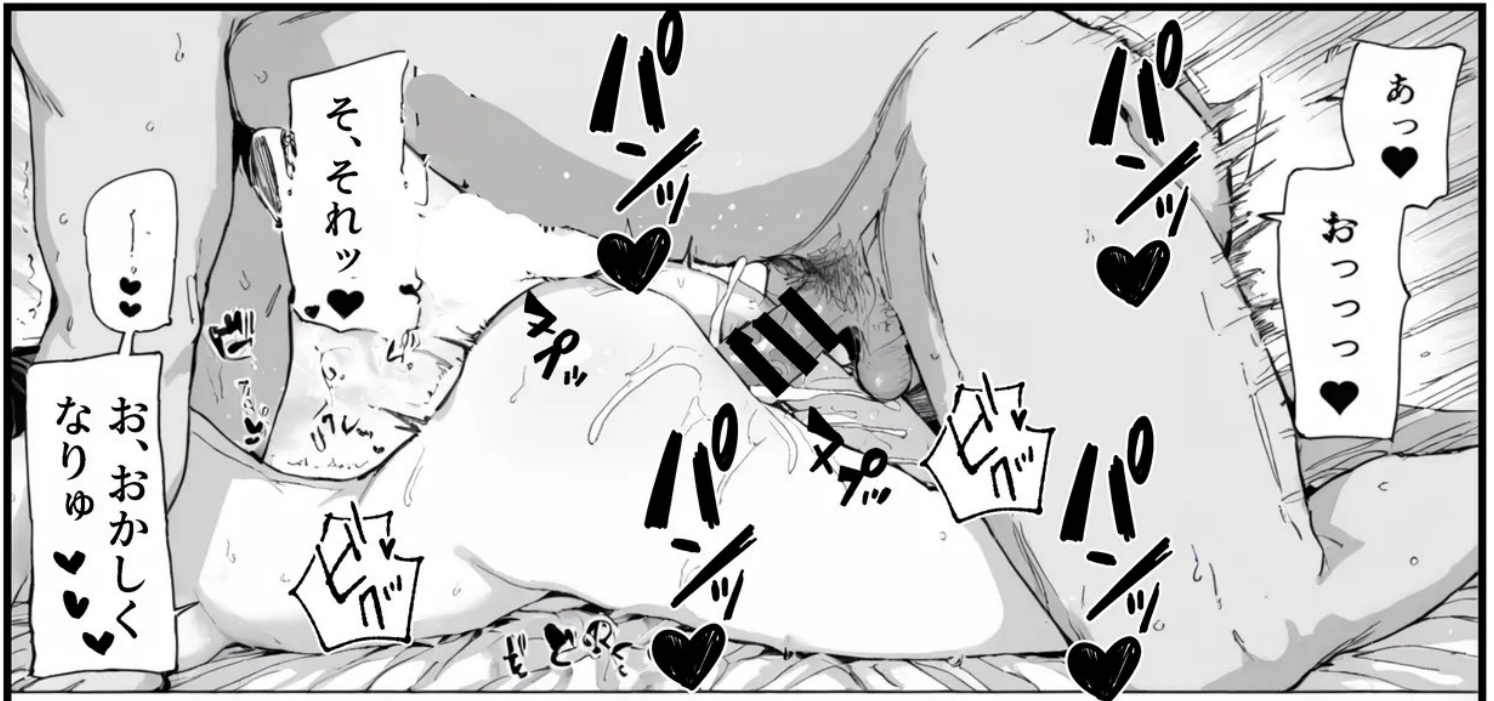
お母さん♡

お母さん♡

お母さん♡

お母さんに
聞こえちゃうぞ







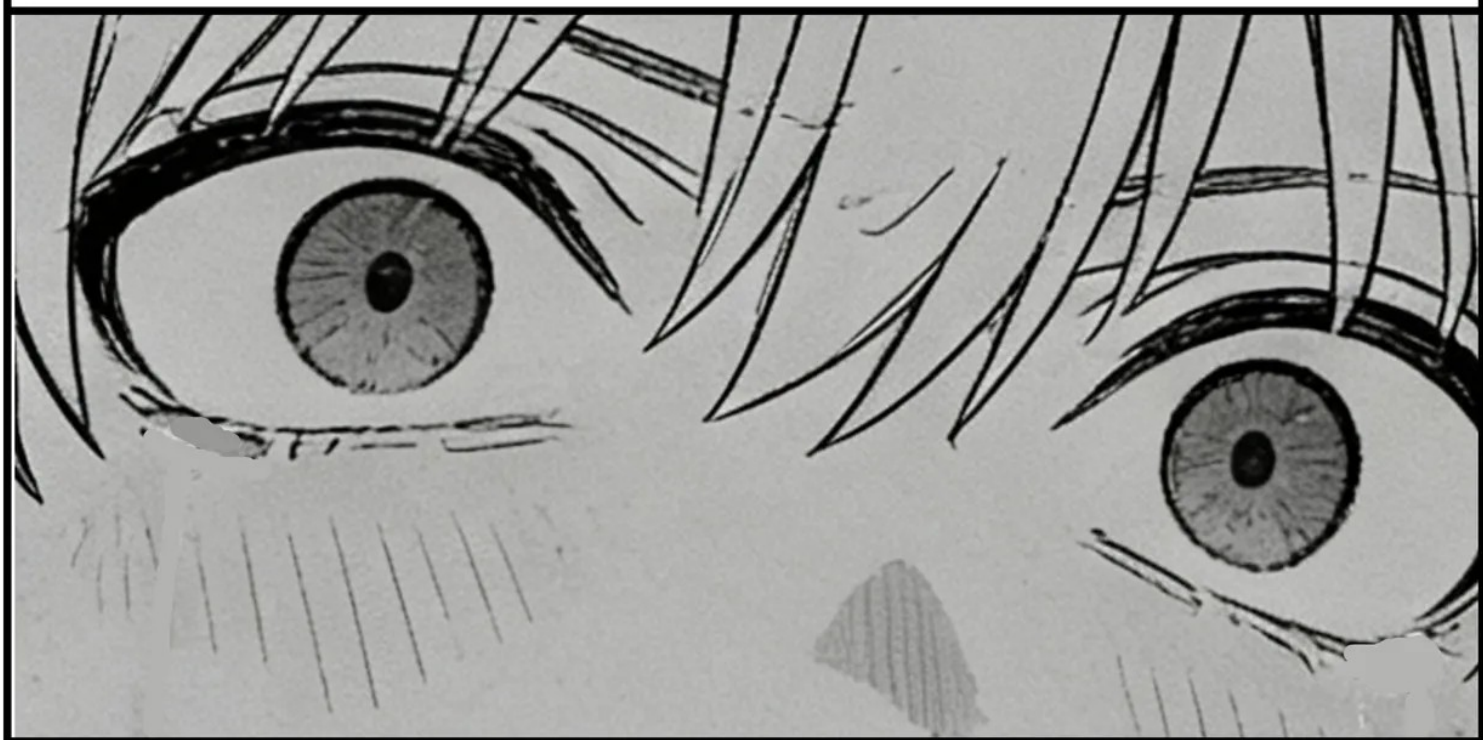
家にいると嫌な妄想ばかりしてしまい
居ても立っても居られなくなった俺は
気分転換がてら街に来ていた



あれから3日
りさと連絡がつかない



そして俺はそこで
りさの様子がおかしくなった
理由を知った





り、りさり!?
隣の男は誰だ!?
しかも、あんな格好…



どういうことだよ!?

あの人がって確か...



ハハッ
それでさー

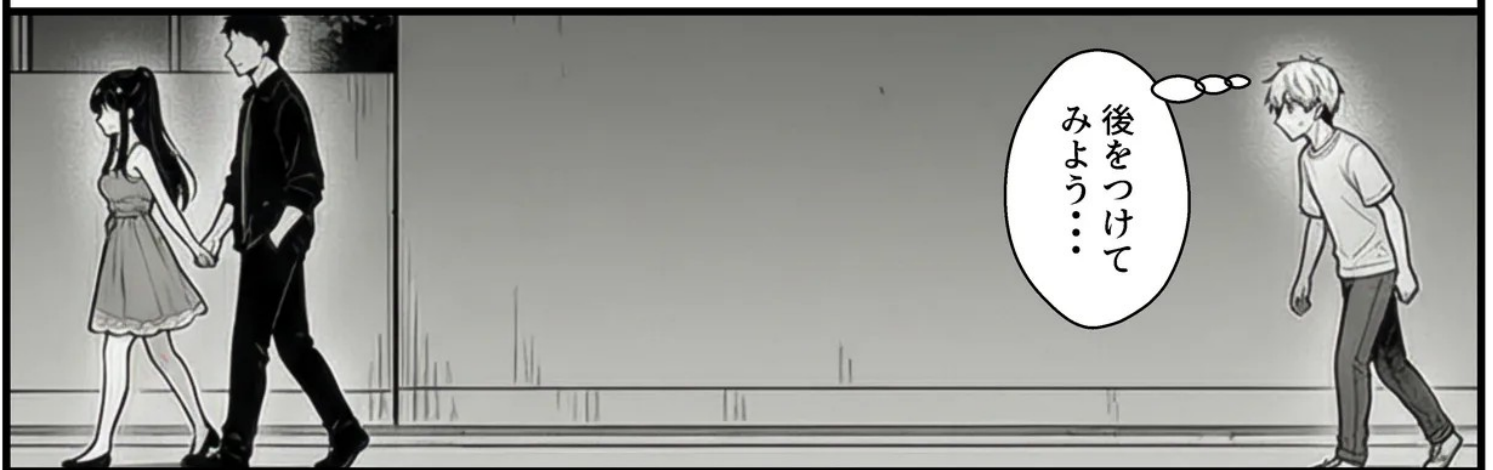
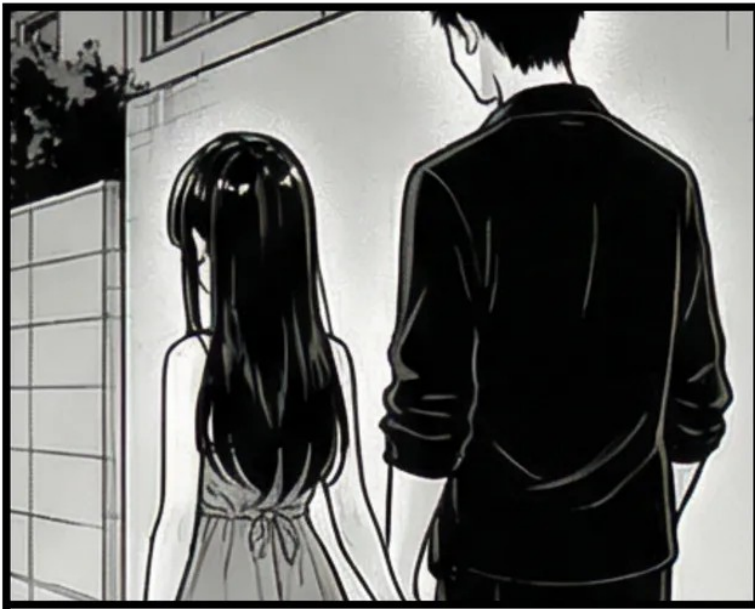
そうなんだ



マズい、
見つかる!

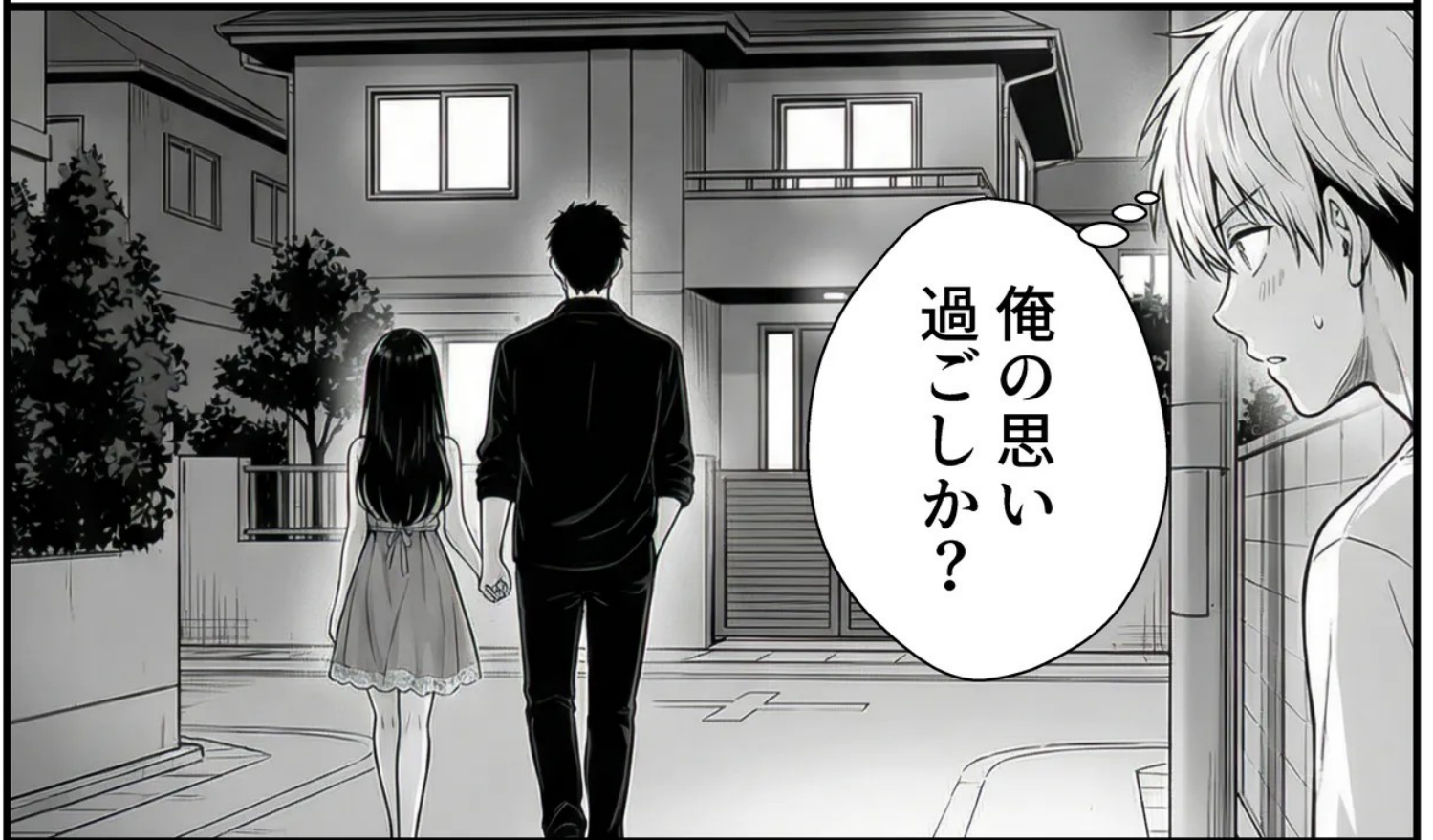


あんなに
楽しそうに...

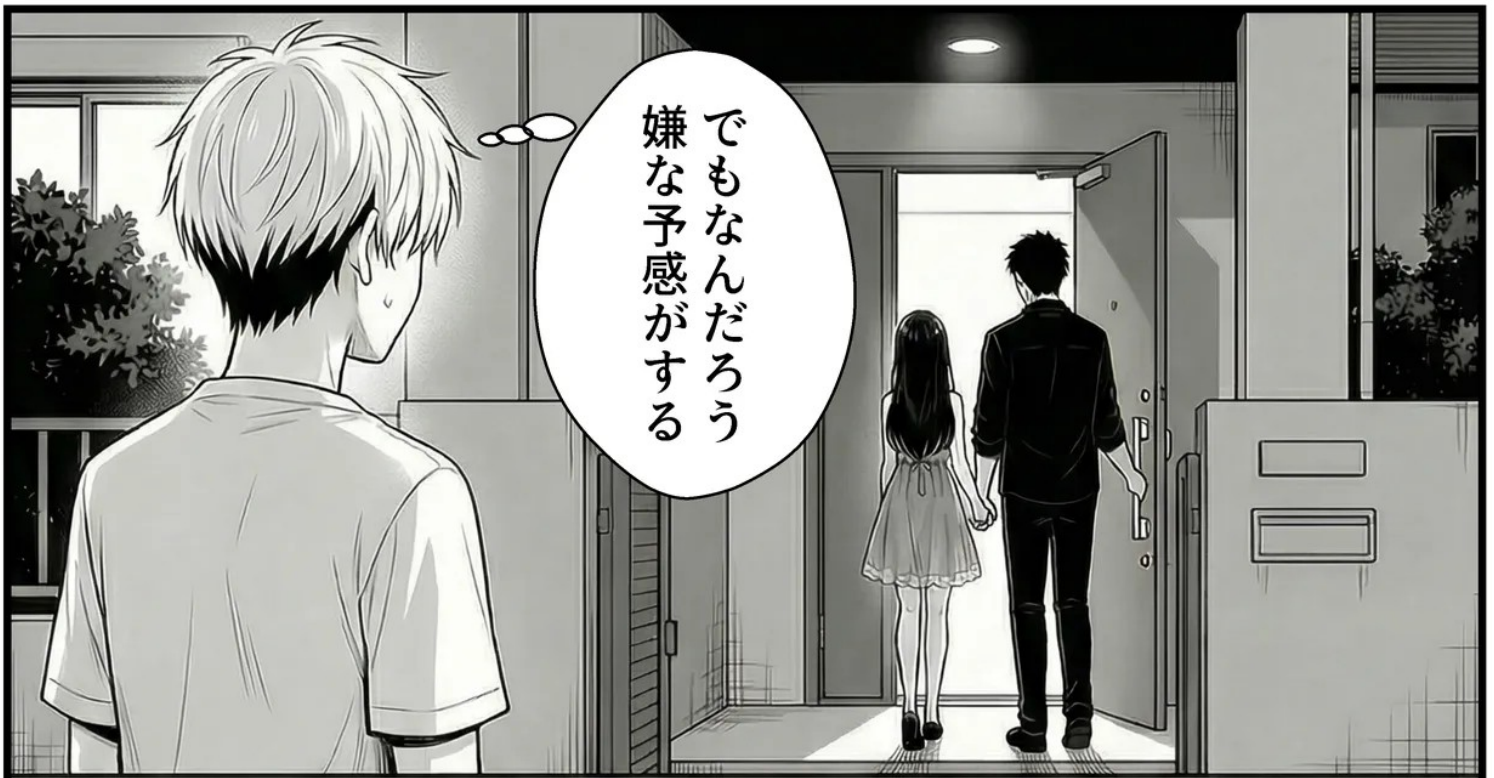




やっぱり！
りさの家に
向かってる



俺の思い
過ぎしか？



でもなんだろう
嫌な予感がする



カギが
開いてる？



あ



クソッ
これでただの勘違い
だったら笑えるぜっ

お邪魔します……



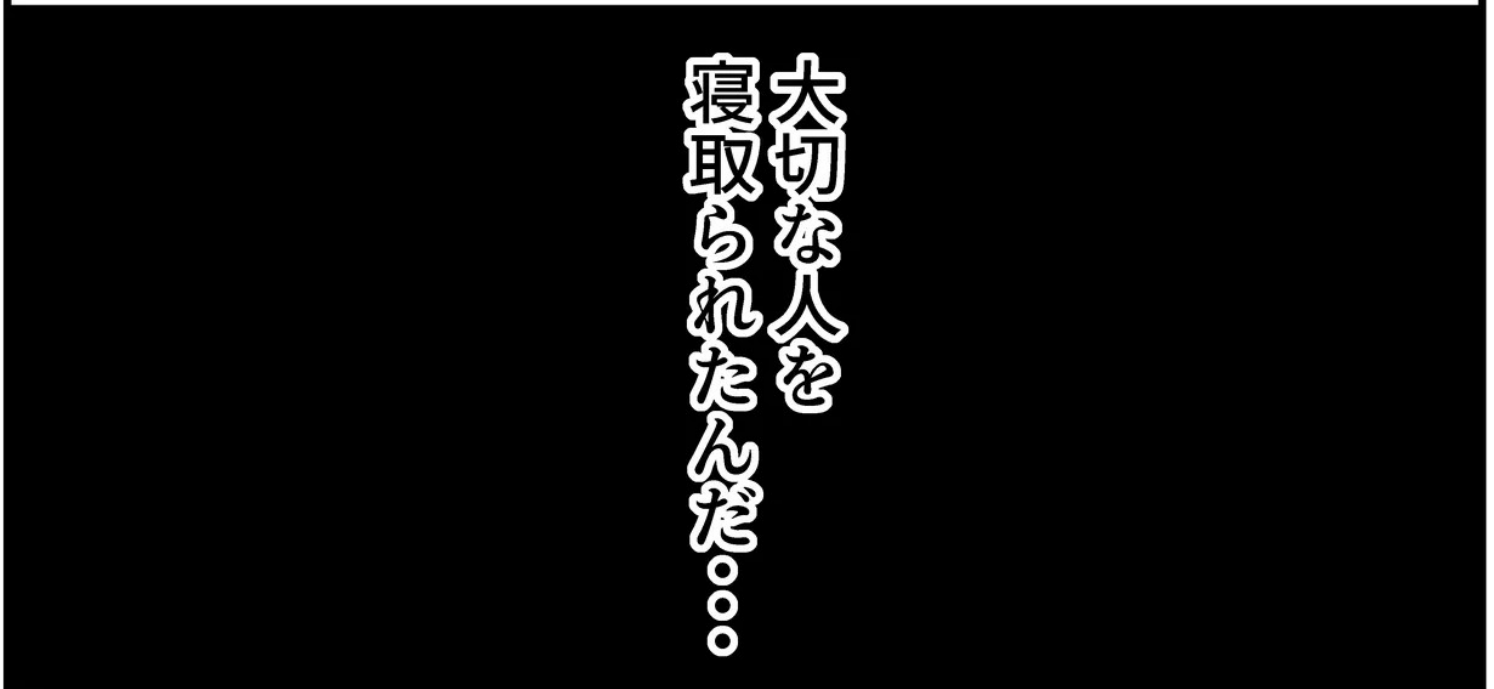
ははっ
そうかよ……



コッ
コッ



勘違いなんか
じゃなかった……
やっぱり俺……



大切な人を
寝取られたんだ……



ふんふんふん

んん

んんん

ふ

んん

んん

んん

んん

んん

だらしない顔
になってるぞ

りさちゃん♡

あ♡

ほ♡

ん♡

だ、だって...

弱いところ
いっぱい弄るから...

指も3本
入るようになっ
ちゃったね

どこら辺が
いいの？

あ♡

は♡

ほ♡ほ♡

上のと...
もっと擦って♡

あ♡



そ、そいい♡
そこ好き…♡

ここが
いいんだ？♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

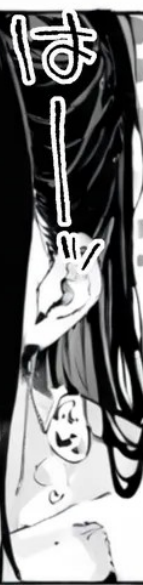
♡
♡
♡

♡
♡
♡



すぐイクように
なっちゃったな笑

♡
♡
♡



あ…♡…

♡
♡
♡

♡
♡
♡



まずは

口にいっぱい
出してやる♡



♡
♡
♡

うん…♡

じゃあ次は
チンポ啜えて



まずは教えた通り
舌で優しく亀頭を刺激して



そうそう
上手になったね

尿道もしっかりと
舌で綺麗にして

うん



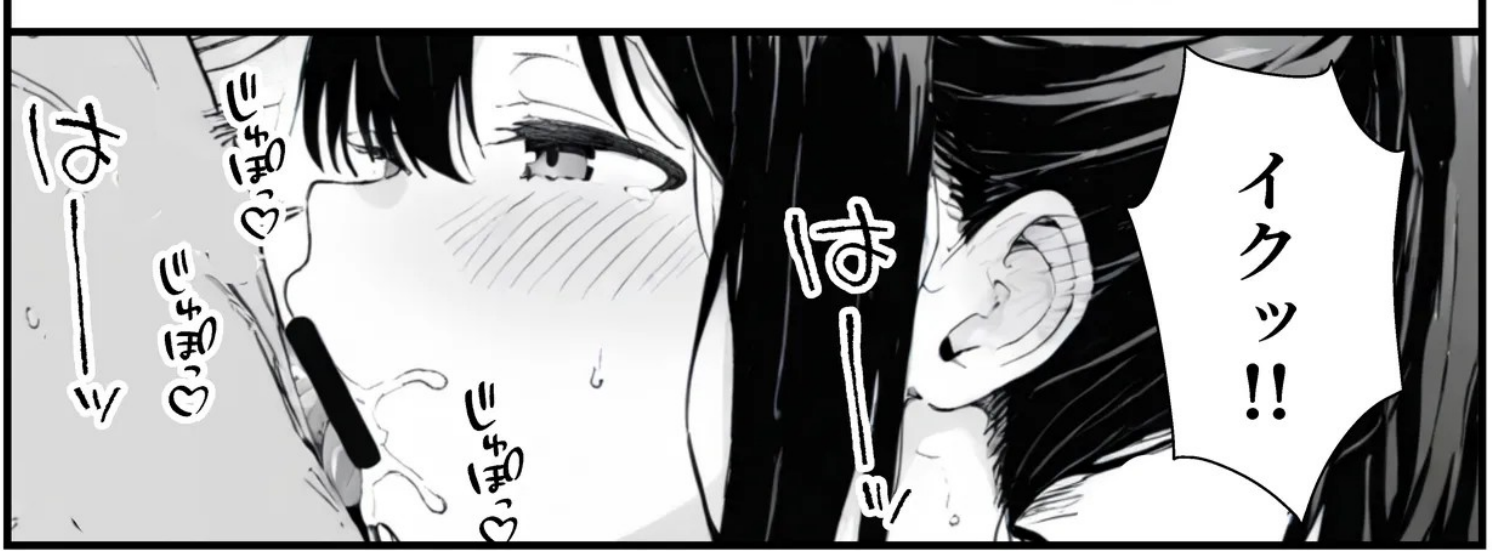


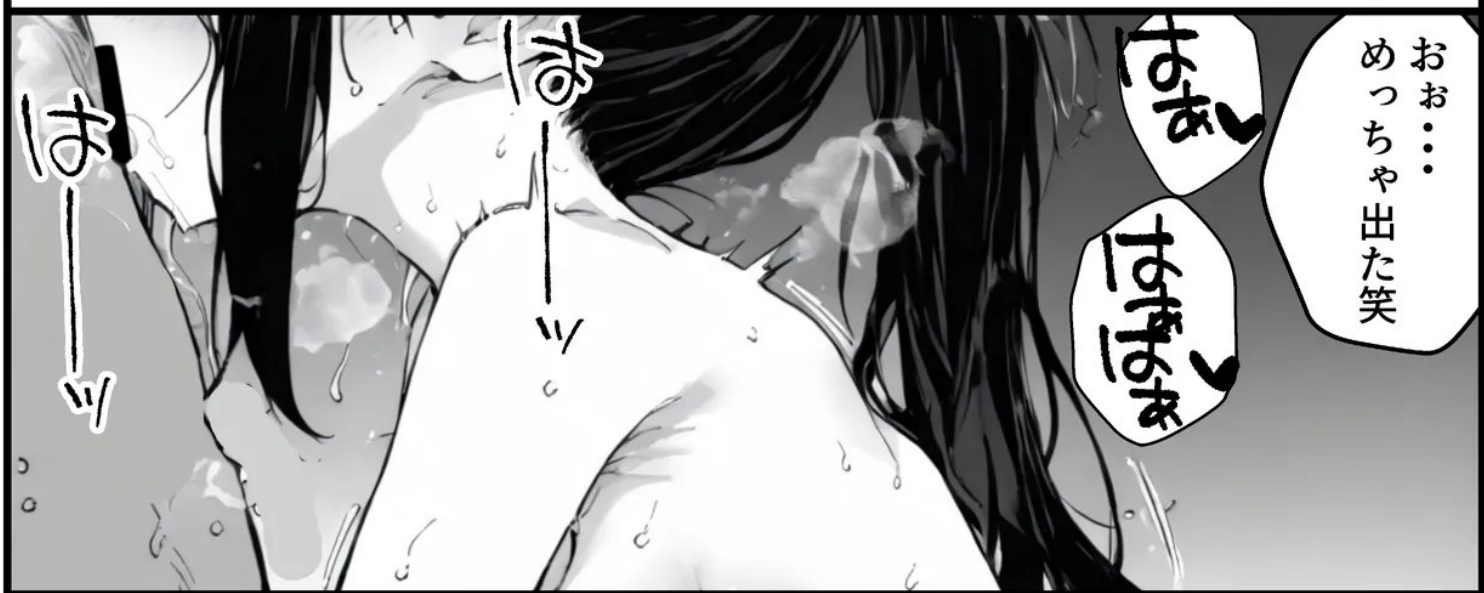
ふーん
良くなるのかあ

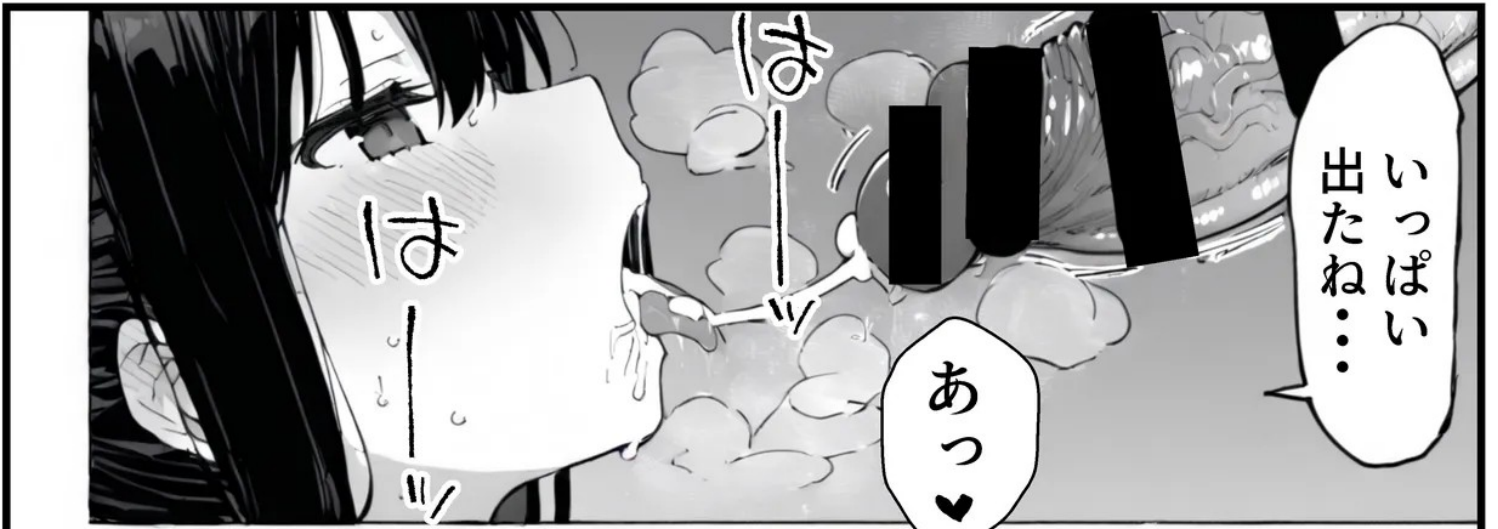


お義父さん
もう……♡

我慢できない
かも……♡♡♡







いっぱい
出たね...

あっ♡



引いてる...

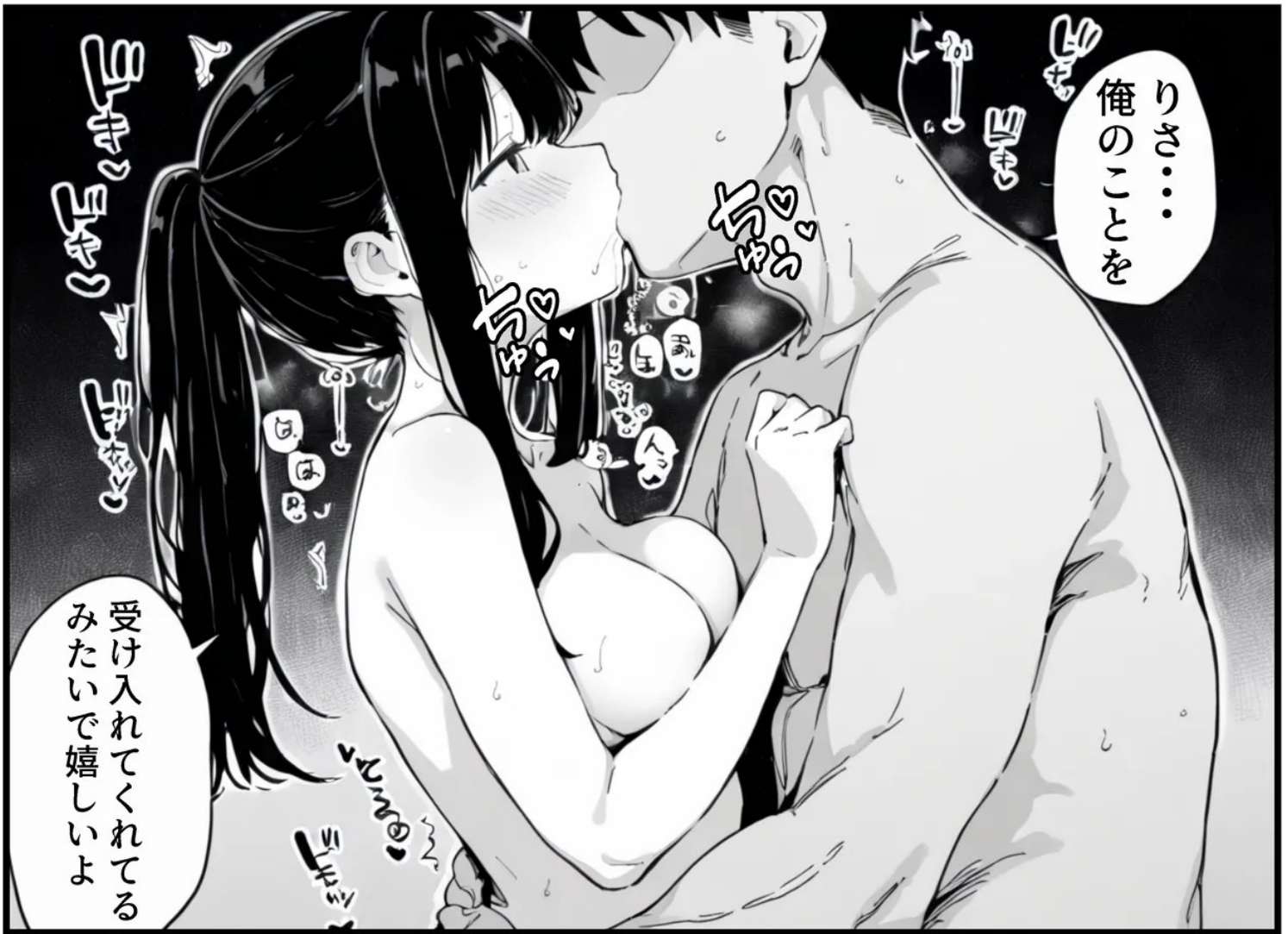
糸...



凄い匂い...

はっ

はっ



りさ...
俺のことを

受け入れてくれてる
みたいで嬉しいよ



本当は...
こんな関係...

絶対ダメだって
わかってるんだけど...



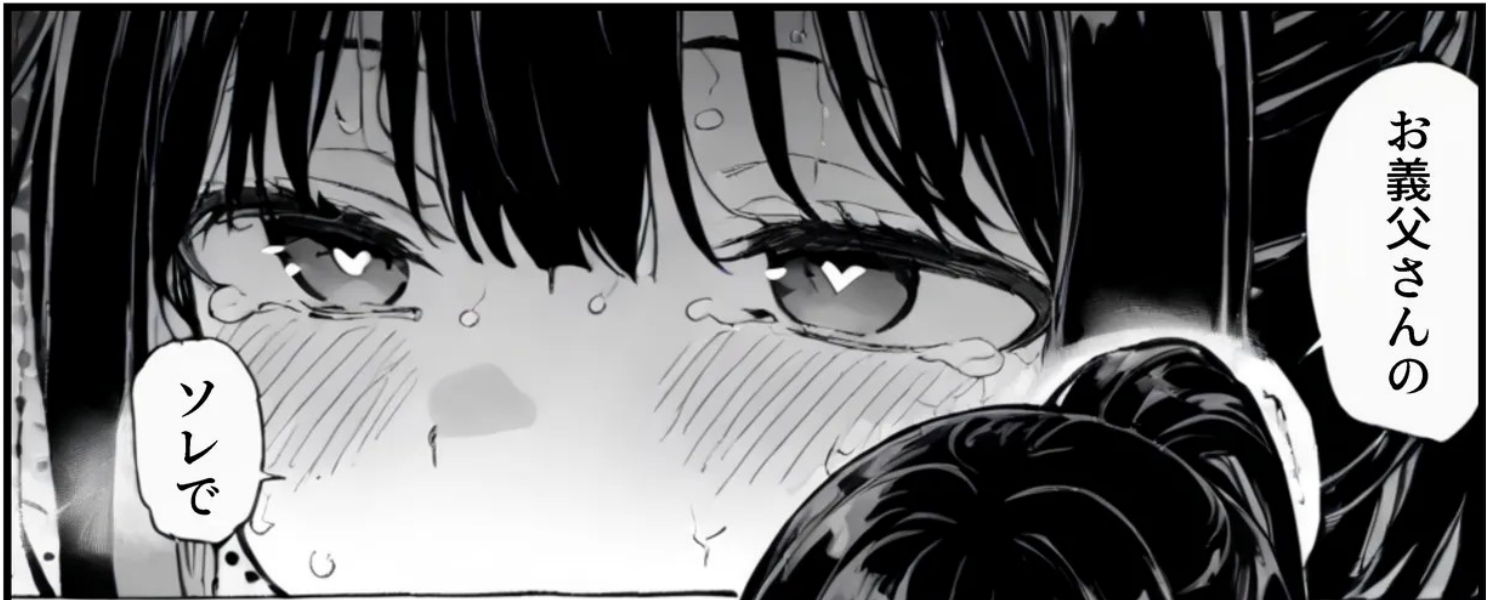
最近ね
お義父さんと
してると...

なんかね...
アソコが...

キューッて
なるときがあつて

そんなときは





お義父さんの

ソレで



いっぱい
犯してください♡

ほ♡

ほ♡

ほ♡

STIS
STIS
STIS

STIS
STIS
STIS

STIS
STIS
STIS



おっ
入れたばかりなのに
もう子宮が
降りてきてるな♡



すぐイキそうに
なっちゃおう...♡

おっ♡♡

おっ♡



お、お義父さんッ
いき…なりっ…
激し…過ぎッ…♡

も…も…も…♡
ゆ…っくり…
あ…あッ…

お

お



これから
何回でも
イカせてやる

遠慮なく
イッていいぞ

お

お

お





子宮に

凄い当たるう

お義父さん…
なんか
また…

凄いの
きそう…

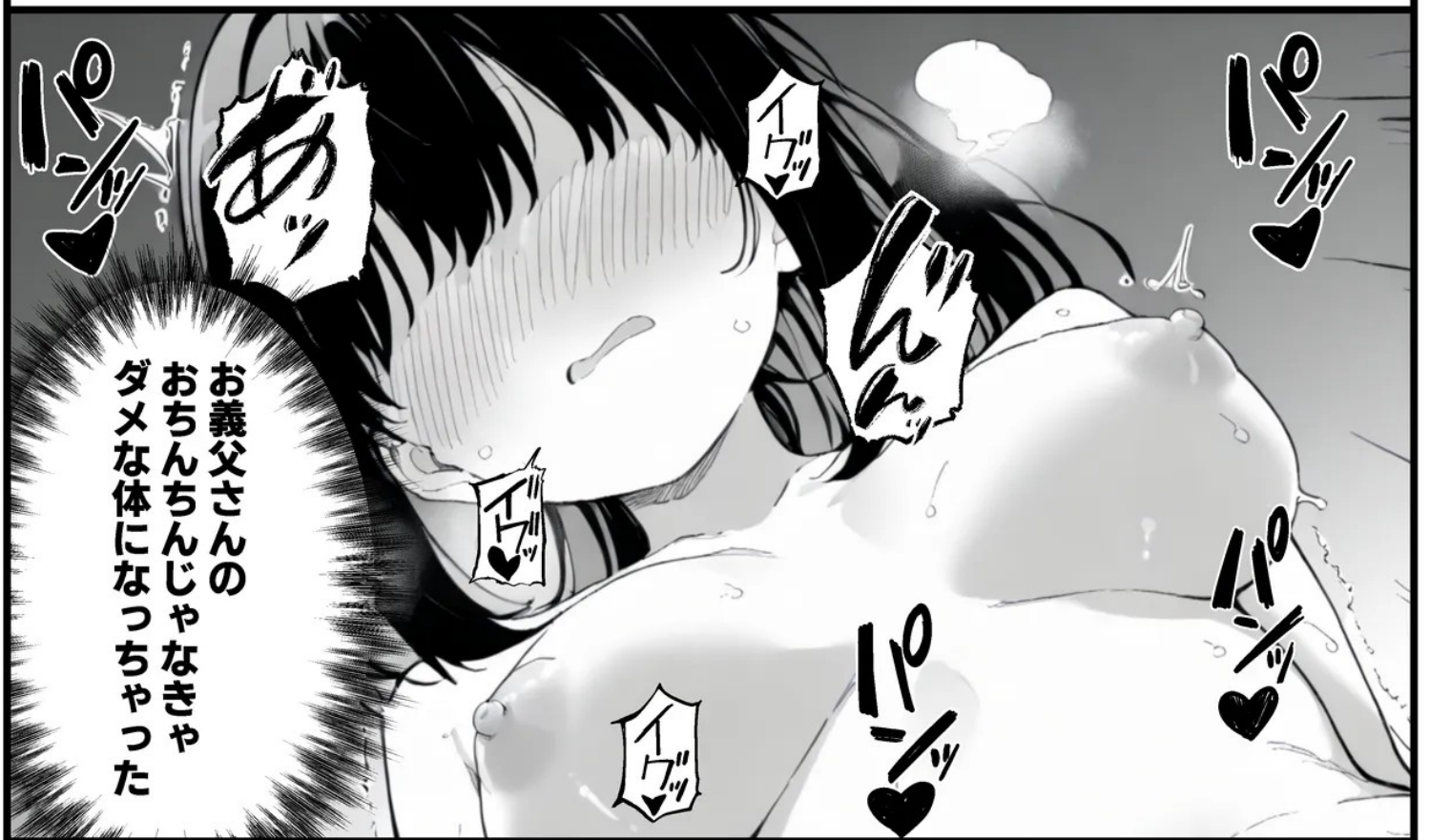


あ……あつ……
イ……ク……う





ひ、ヒカル…
ごめんツ…
やっぱり…



お義父さんのおちんちんじゃなきやダメな体になっちゃった





まって
優しく……
もっと
優しく……
突いて……

じゃないと
私っ……

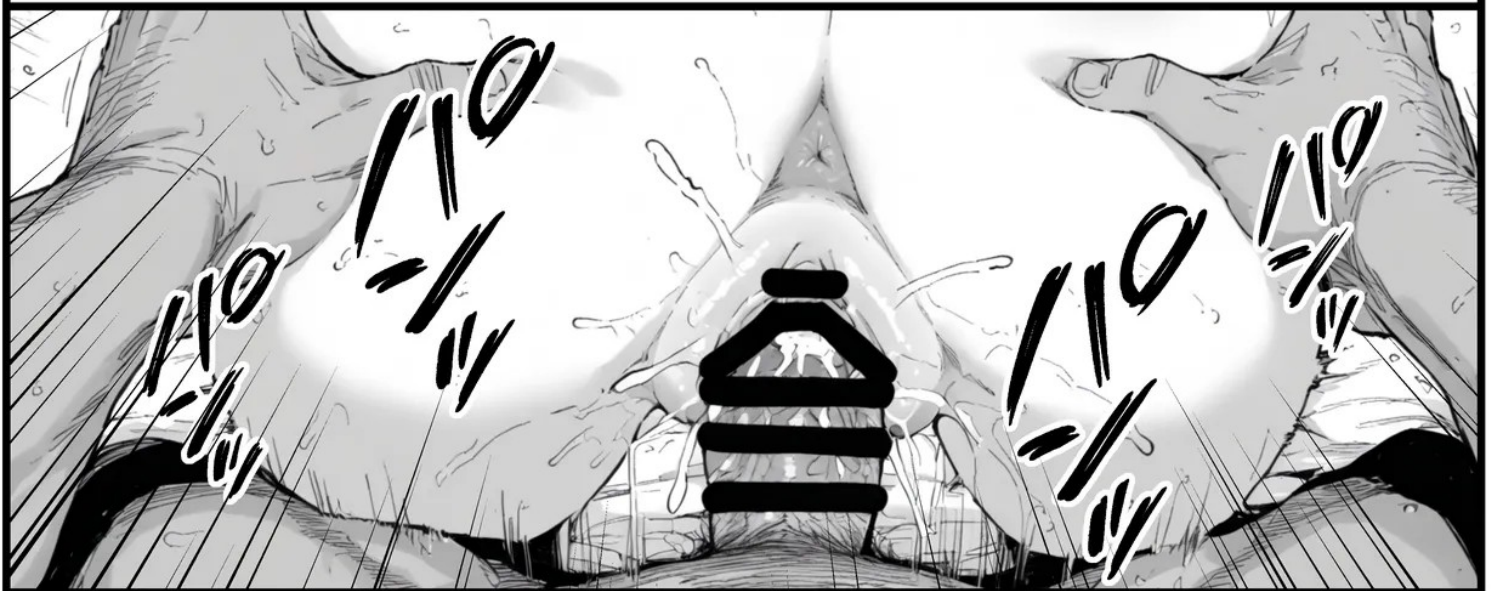
お!!

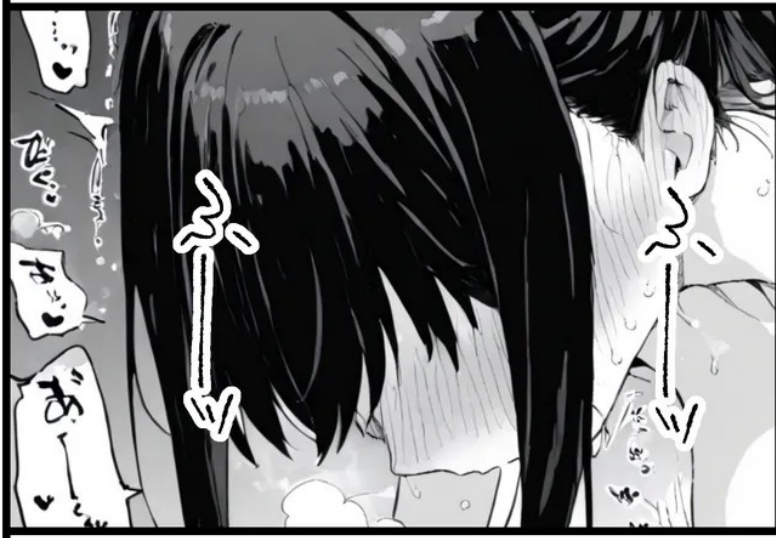


おかしくなって
いいんだよ
りさ

おかしく
なっちゃうツ

壊れちゃう





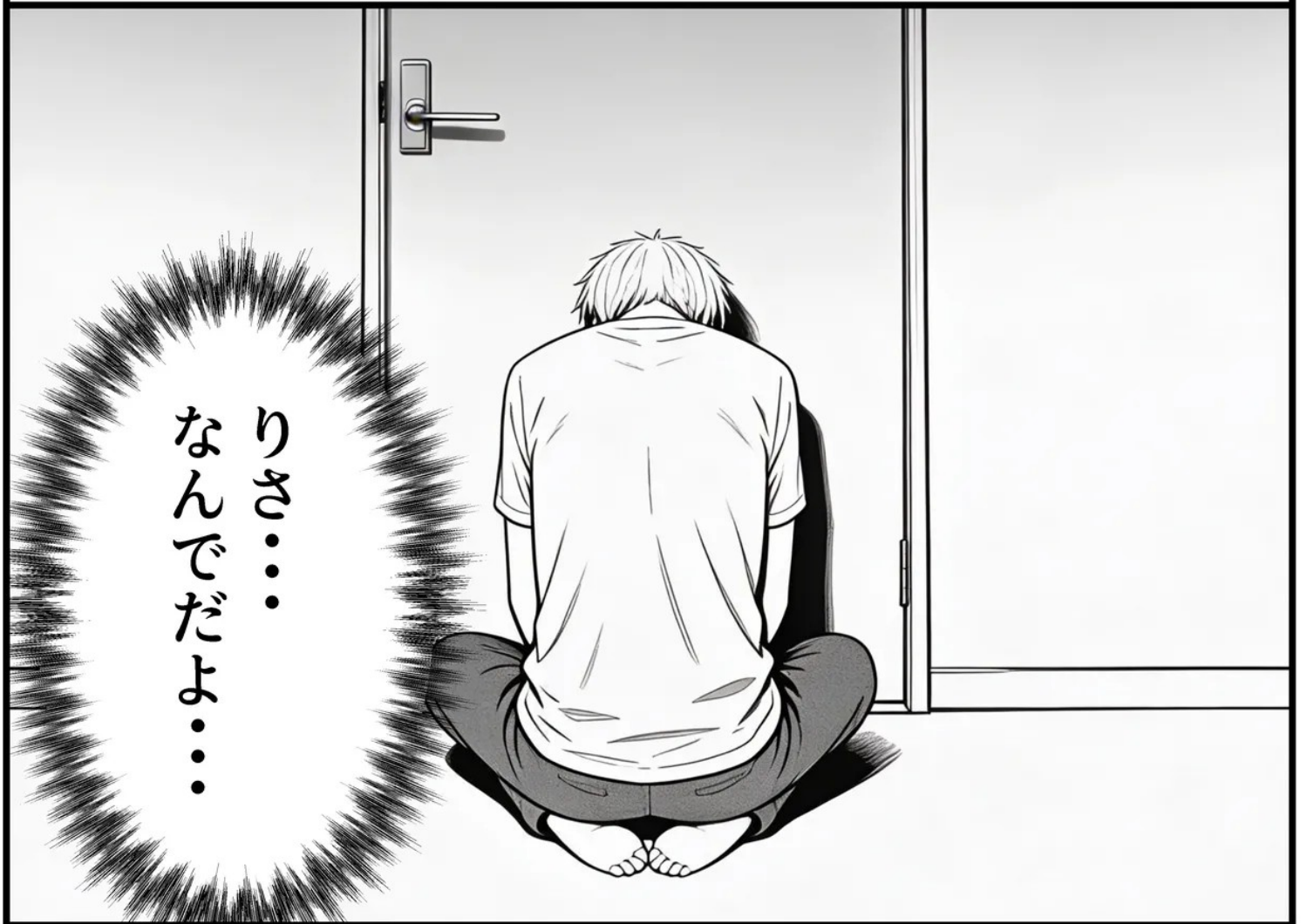
りさ!
イクぞ!

わ...私も...
イクッ...イクッ...
イクイクイクッ

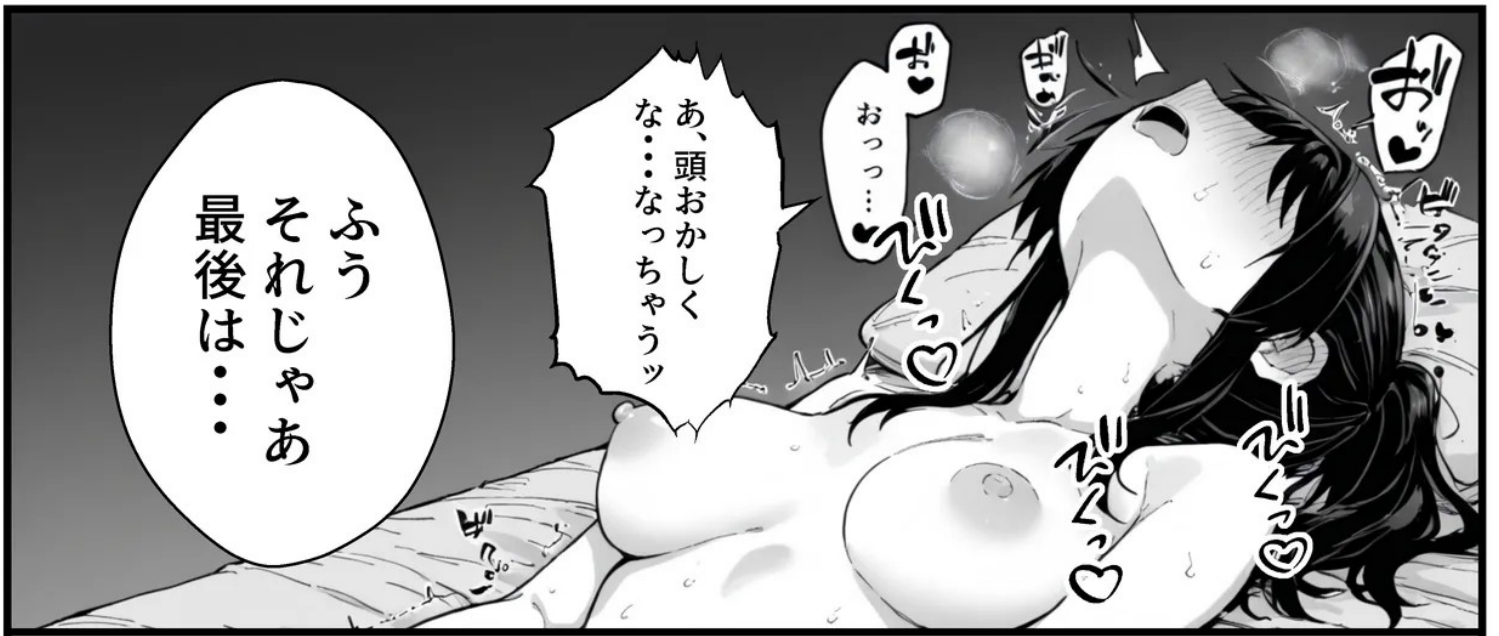


おお・・・締まるう♡
精子全部絞り
取られちゃうな笑

おおおい
おもたごころをいっしょに



りさ・・・
なんでだよ・・・



ふう
それじゃあ
最後は……

あ、頭おかしく
な……なっちゃうッ

おっっ……

おっっ……

おっっ……



正常位で
イカせまくっちゃう
からなあ♡

待ってッ……
ま……まだ……
び、敏感……だから……

スホッ
スホッ
スホッ

ガチュッ
ガチュッ

♡
♡

♡

ガチュッ

♡



あれ？
私……

意識
飛んで……？



気絶しちゃう
くらいココが
気持ちいいんだな♡



子宮が降りてきてる
から簡単にポルチオを
刺激できちゃうぞ♡

ん
おお
おお

ガ
チュッ

ガ
チュッ

ガ
チュッ

ガ
チュッ



ポルチオ
気持ちいい？

おっ♡

おっ

おっ

おっ

き、気持ち…ち
…いいッ…!!



そっ…
もっとお!!

ははッ
すっかり
気にいったな

ぱんぱん

おっ♡

おっ♡

奥…くりゅ
くりゅ…
ヤバッ…い…!!



奥…くりゅ
くりゅ…
ヤバッ…い…!!

菜屋ちゃん…

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡



おおッ...

また意識...

とびぬ♡



あッー...
イク...イクう...
い、イクッ...

お義父...さん...
い...き...まッ...





こ…こん
なの…

知らな…
イツ…

ドクッ
ドクッ

ふうー
めちやくちや
出たあ♡



りさ
ありがとな♡

うりがすづっっっ
すとおっっっ♡♡♡

おめ♡♡

って…
聞こえてないか笑



うわあ
ちよっと
出し過ぎた...

ズンズン〜

やま



ズンズン〜



こっちは...
妊娠...

は〜
は〜
は〜



これは
流石に...
妊娠...

いやっ
大丈夫か笑

ズンズン〜

は〜
は〜

は〜

ズンズン〜

クソツクソツ
なんで!!
なんで……



うツうツうツ

すぐ近くにいるのに
何もできない……



ひび

俺って
本当に……



ダセえよな……





うん

りさ...
どうだった？

すっごく
気持ち良かった...

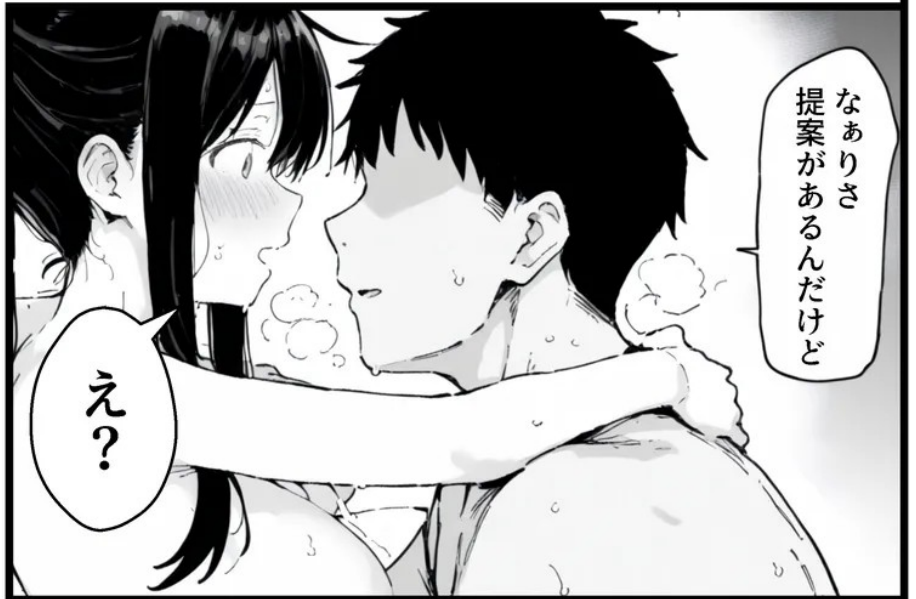


だよな
何回も意識
飛んでたもんな笑

ううっ
言わないでっ



お義父さんの
お友達と…？



なありさ
提案があるんだけど

え？



嫌だよ…

私そんな
じゃないから



今日のセックス
凄く良かっただろ？

……
こんなのと
比べものに
ならないくらい



もっと
気持ち良く
なれるぞ？

え……？



りさ

お前が今想像
している快樂
なんて目
じゃないぞ

おっ
おっ

俺たちがお前に
真の快楽を・・・
教えてやる

フ
フ
フ
フ
フ

その後
りさとの連絡は
完全に途絶えた

だけど
まさか、あんな形で
再会することになるなんて
この時の俺は想像もして
いなかった……

To Be Continued...